



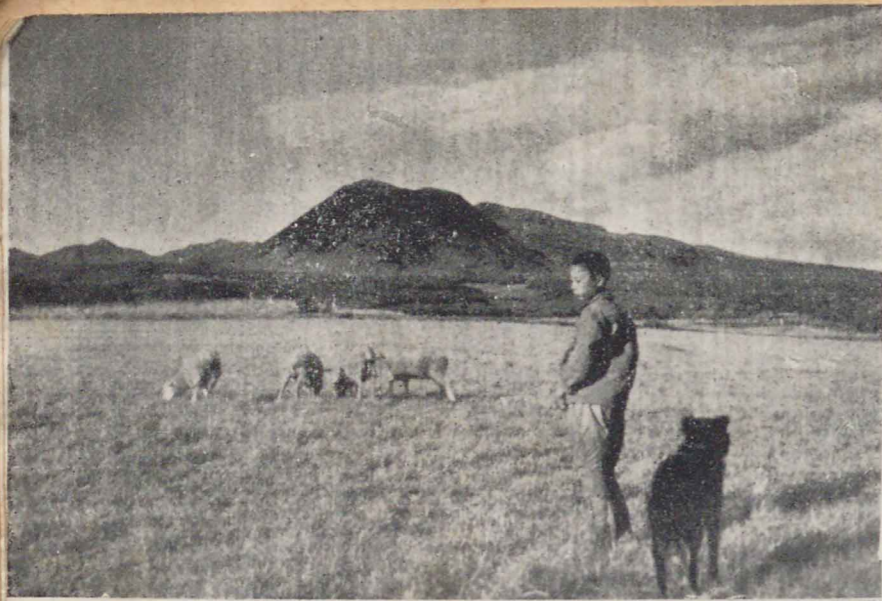
田村藏書

K291.9  
G.94

上州路湯の旅山の旅誌



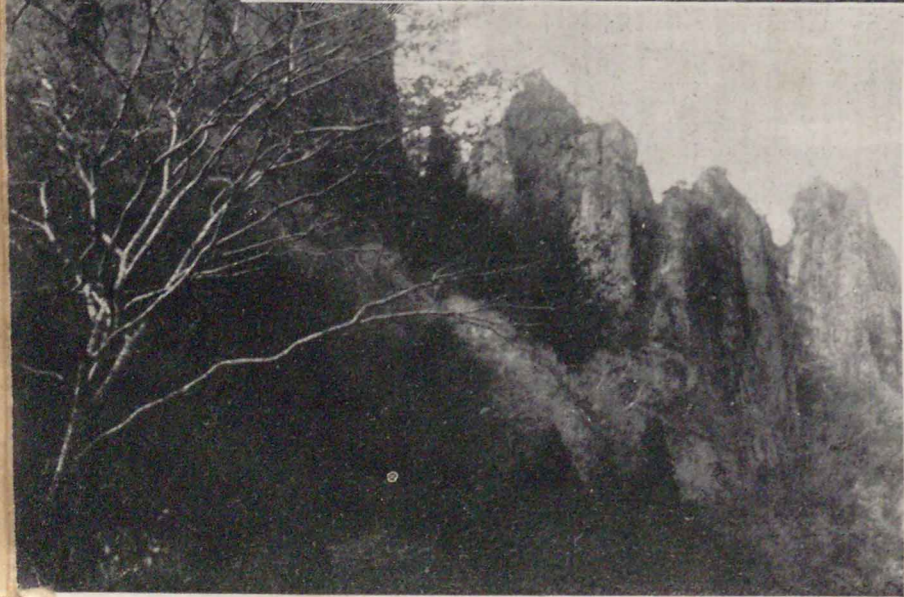
群馬縣勝地協會



赤城山放牧と鍋割の遠望



榛名湖畔キャンプ

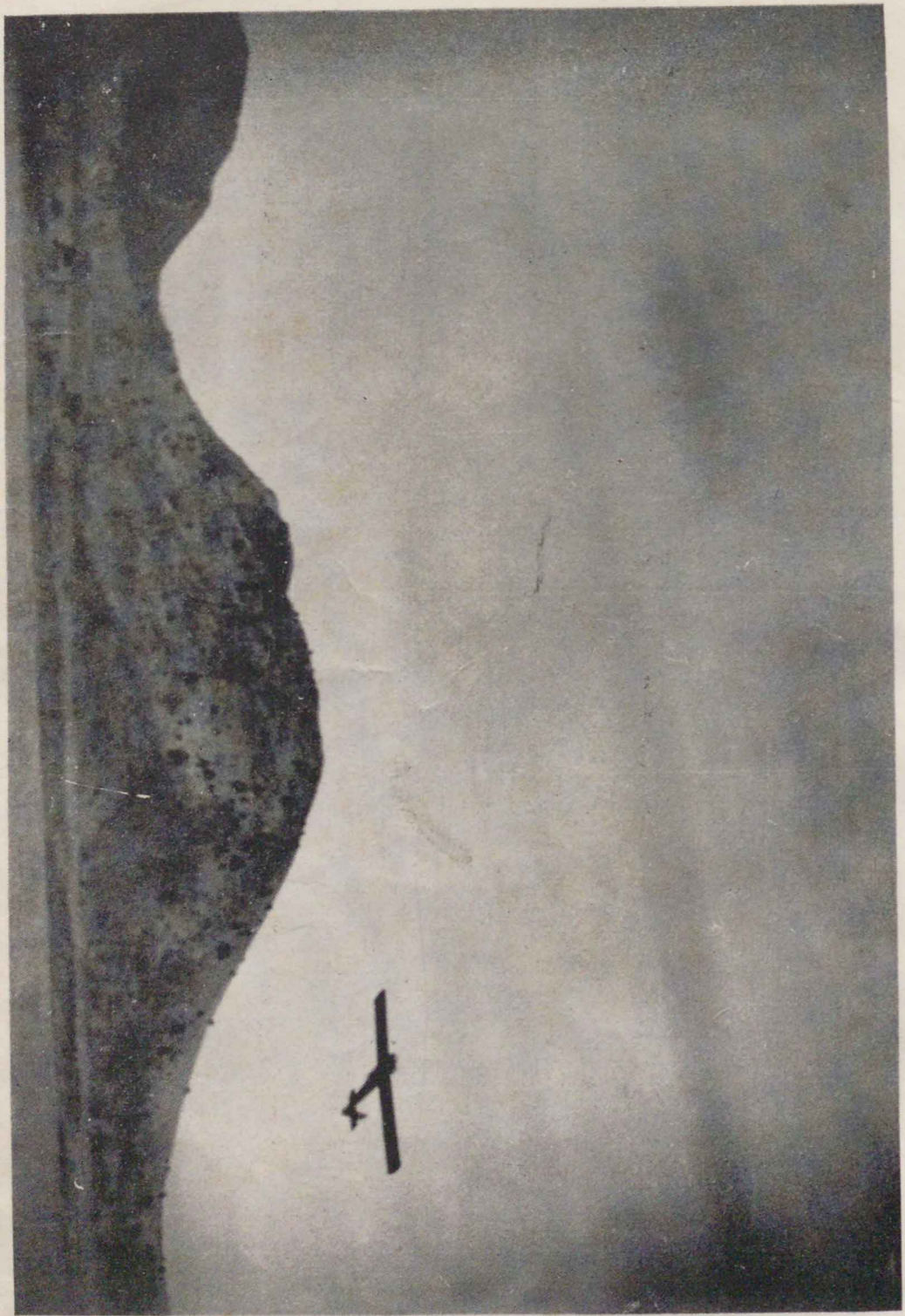


妙義の奇峰

群馬県立図書館  
 昭和  
 38. 2. 5  
 31948

寄 郎 太 良 永 富

翔 飛 ー ダ イ ラ グ ヨ へ 鍛 に 山 名 様





鬼押出視察の熊田土木課長

序

山の旅や、温泉の旅は、ともすると誤解され易く、身心錬成の大自然美道場を冒瀆する者さへ無きとは云へぬのである。

萬國無比の皇軍は、陸に、海に、空に、世界平和の爲、降魔の利劍を振り翳してゐる。

銃後を守る總べての用意は果して充分か働きつゝ健康を守り、身も心も軽やかにいつ如何なる時にも問へは應ゆるの、用意はよいか、萬全の備へあるとも身にいたつきのありて何かせんや、守れ健康、保て健康

山は、温泉は、莞爾として健康錬磨の人々を招いて居る、そして山に錬成せよと叫んでゐる。

△ゆらく湯煙り 常春の國

お山の中から 谷間から

坊やお國は 花の園

ゆらくゆらりこねんくよ

—上州子守唄—

なんといふ優しい唄聲であらう、三山嵐に荒れ狂ふも暫し、若草匂ふ春ともなれば、松の小笛に雀鳴りに、風の便りに事づけて、來れよ、健康群馬の温泉に……と山は招き温泉は呼んで居る。

温泉は病人の行く處、そして老人閑居の處と云ふは一を知つて二を知らざるの言なり。

朝から晩まで、熱火と戦い煤煙に埋もれて働く不眠不休の戦士、會社、銀行將た又工場に戦ふ産業戦士に、温情溢るゝ憩ひの一時、満ちくたオゾンの山溪に大悲溢るゝ靈泉に身も心も「トロリ」と浸る醍醐味こそ萬全の富も又遠し、と云ふべきなり。

加ふるに、風致の妙、卓越の効、温泉は大地に脈打つ活き物であり、生ある大自然の權化である。

人は十人十色の如く、温泉も又而り、各々特長を有し其の効果を競ふ。

健康群馬の温泉に關し、交通、風光、特效を一書に揖して、之を一日旅、二日、三日の健康鍊成群馬の温泉巡りとなし、昨年發行せし、群馬史蹟巡りの姉妹編となせり。

馬は伯樂に依りて名を成し、温泉は吾人利用有意に依り醫藥も又及ばさるの靈效あるなり、要は依つて以つて活用の如何に待つものと云ふべきなり。

群馬の史蹟巡りと同時に坐右に備へんか健康に輝く歴史文化の群馬一望にまみへ一日の休養を有

意義に過すの便あると同時に群馬五十有餘の温泉の全貌泉質を明かにし、萬病に宜しきの誇大效能を誠しむると共に、あくまでも其の正確を期さんとせり、只温泉の起源傳説は其の儘記述せるが面白く、今更其の眞偽の如何を正すの不風流はせざるもの故、大方の御判斷にまかせんとす。

—編者識—



# 目次

附圖 { 温泉ト山聯コース圖  
スキ一案内圖

序文

群馬ノ沿革

重要史蹟 付天然記念物、國寶美術及國寶建造物、付言

上州路山ノ旅コース

## ◎東武沿線

藪塚 鑛泉

梨木 鑛泉

松葉 鑛泉

忠治、湯ノ澤、瀧澤鑛泉

梨木、忠治温泉赤城山コース(圖入り)

## ◎上越沿線

伊香保 温泉

ガラメキ、伊香保附近、山ノ旅コース

## ◎上越線利根温泉郷

一

四

一五

二六

二八

三〇

三三

三三

三七

四一

子持山コース……………三  
 大室、利根温泉……………四  
 水上温泉附近……………四  
 湯原温泉……………四  
 小白向温泉……………四  
 谷川温泉、大穴温泉……………四  
 湯檜會温泉……………五  
 寶川温泉……………五  
 湯ノ小屋温泉……………五  
 湯ノ花温泉……………五  
 スキー場案内……………五

◎利根郡東入り

川場温泉……………五  
 老神、穴原温泉……………五  
 土出温泉……………六

白根温泉……………六  
 丸沼温泉……………六  
 老神附近、尾瀬沼コース(圖入り)……………六  
 迦葉山、山ノ旅コース……………六

◎利根西入

湯宿温泉……………六  
 川古温泉……………六  
 湯島温泉……………六  
 笹ノ湯温泉……………七  
 法師温泉……………七  
 水上温泉附近山旅コース、付、谷川岳(圖入り)……………七  
 佛岩、山ノ旅コース……………七  
 治武、三國越ヘコース……………七

◎高崎沿線

八鹽鑛泉……………七

◎碓氷温泉郷

- 磯部 鑛泉 ..... 七九
- 霧積 温泉 ..... 八二
- 磯部、輕井澤山ノ旅コース ..... 八四
- 神津牧場山ノ旅コース ..... 八七
- 黒瀧山、上野三碑コース ..... 八九

◎吾妻沿線吾妻温泉郷

- 吾妻線ニ就テ ..... 九一
- 澤渡 温泉 ..... 九二
- 四萬 温泉 ..... 九四
- 大塚 温泉 ..... 九六
- 松ノ湯 温泉 ..... 九八
- 川原湯 温泉 ..... 一〇〇
- 川原湯、温泉附近、山ノ旅コース ..... 一〇二
- 鳩ノ湯 温泉 ..... 一〇四

◎温泉旅館・山ノ家

- 薬師 温泉 ..... 一〇五
- 草津 温泉 ..... 一〇七
- 草津温泉附近、山ノ旅コース ..... 一一一
- 花敷温泉、尻明温泉 ..... 一一三
- 湯ノ平 温泉 ..... 一一五
- 香草 温泉 ..... 一二六
- 萬座 温泉 ..... 一二七
- 萬座温泉附近、山ノ旅コース ..... 一二九
- 新鹿澤 温泉 ..... 一三〇
- 鹿澤 温泉 ..... 一三三
- 伊香保温泉旅館 ..... 一三四
- 草津温泉旅館 ..... 一三六
- 香草、湯ノ平、應徳温泉 ..... 一三三
- 萬座、花敷温泉旅館 ..... 一三〇

四萬温泉旅館……………一三〇

澤渡、大塚、川原湯、新香澤、松ノ湯温泉旅館……………一三二

水上、湯檜曾、谷川温泉旅館……………一三三

湯原、小日向、鹿野澤、上牧、寶川、湯ノ小屋温泉旅館……………一三四

湯宿、法師、川古、猿ヶ京温泉旅館……………一三五

老神、大場、穴原、川場、丸沼、白根温泉旅館……………一三七

磯部、八鹽、霧積、薬師、鳩ノ湯温泉……………一三九

藪塚、梨木、湯ノ澤、忠治温泉旅館……………一四一

奈女澤、外碓氷鑛泉郷旅館……………一四三

赤城山、妙義山、榛名山旅館……………一四四

各地山ノ家……………一四五

筆者ノ言葉……………一四六

### 群馬の沿革

崇神天皇四十八年に皇子豊城入彦命をして東國をひろしめ給ひしより毛野國の歴史、即ち文獻に窺ひ知る群馬の起因なり。

景行天皇の四十年、皇子日本武尊を東夷討伐に遣わされし途時、尊は征矢堂々上毛野を過ぎ給ひしと云ふ今も尙往時の傳説と共にそれに因みし地名あるも床し。

尊は亡妃橘姫を追慕され、見晴るかす峰に立ち給ひ「吾孀者耶」と嘆せられ、吾孀の語源をなせるものと言わる。

上野の國は下野と共に、毛野の國と稱され和銅二年に改めて上野と稱さる(元明天皇一三六七年)當時すでに「木の國」又は群馬と云われしは、畜、産、林に恵まれし土地を如實に表現せし字句であると信ず。

古きより皇子皇孫の御統屬を辱ふせし事歴も存置されて居る。

淳和天皇 天長三年(一四八三年)葛井親王大守に任せられ給ひ、王化の洽き山野に光明を垂れ無邊の温情、民福増強の道を示せるも、土豪の跋扈、武門の専斷尙ありて良民の苦甚だしく、樂

土全つたからぬ状ありたり

後鳥羽天皇の建久三年源頼朝か鎌倉に覇業を興し、安達盛長が上野國守護となり上代の樂土に立ち返るかに見へしも、間も無く世は北條氏に歸し又足利氏に移りて、再び武家政治威をなし益々弊を極め統治意ならざるの度を加ふ。

此の時、新田義貞の一族は護良親王の令旨を奉じて新田郡生品洞前に義烈の旗を擧げ、千古不朽の輝やかしき偉業を成し遂げたので其功績群馬縣史上特筆すべき歴史である

降つて織田、豊臣を経て徳川時代となるや益々新田氏の家系重きをなし、支族である、酒井、井伊、榊原、本多、奥平の諸氏を封じ、上野國は碓固の位置をなしたのである。

明治元年幕府の采地を併合して、岩鼻縣を置き、翌二年には吉井藩を廢して岩鼻縣に併せ、同四年廢藩置縣の命あるや、岩鼻、前橋、高崎、沼田、安中、伊勢崎、小幡、七日市八ヶ地を群馬とし群馬、片岡、緑野、多胡、甘樂、碓氷、吾妻、利根、勢多、佐位、那波の十一郡を算す、當時新田、山田、邑樂の三郡は栃木縣に隸屬したのであると云ふ。

明治六年群馬縣、入間縣を併合して熊谷縣と稱せしが、同九年全國諸縣廢合が行はれし際、熊谷縣中上野を群馬縣とし、新田、山田邑樂三郡を加へて現在の群馬縣を形成す。

人事、行政幾變遷、往時古昔を偲べは、先人辛苦の趾、偉業の美、思ひ新らたなるものがあるのである。

今も尙群馬の地は、山紫水明、土地豊穰、住むに佳く、作るに良く、山の資源に富み、加ふるに天與の靈泉は至る處に、「出で湯」となつて湧出し、健康群馬の地は、上野三山の雄姿と共に燦として輝き、一大自然の練成地の誇りを嚴然と守り榮へてゐるのである。

昭和十七年四月一日稿

萩原正義記

重要史蹟 (順不同)

史蹟名

山上多重塔  
松原峰廢寺趾  
赤城神社櫃石  
保渡田古墳趾  
白井城趾  
稻荷山古墳  
吉井城趾  
小幡城趾  
仁治之板碑  
安中城趾  
大笹關趾

所在地名

勢多郡新里村  
同  
勢多郡宮城村  
群馬郡上郊村  
同 郡長尾村  
多野郡平井村  
同 郡吉井町  
北甘樂郡小幡町  
同 郡小野村  
碓氷郡安中町  
吾妻郡嬭戀村

沼田城趾  
上植木廢寺趾  
天神山古墳  
反町館趾  
脇屋義助之墓  
貝塚  
高崎城趾  
將軍塚古墳  
上芝古墳趾  
植野城趾  
平井城趾  
笹森稻荷古墳  
七日市城趾  
一里塚

利根郡沼田町  
佐波郡植蓮村  
新田郡九合村  
同 生品村  
同 寶泉村  
邑樂郡海老瀬村  
高崎市  
群馬郡京ヶ島  
同 箕輪町  
同 總社町  
多野郡平井村  
北甘樂郡福島  
同 富岡町  
碓氷郡豐岡村

金井廢寺趾  
 猿ヶ京關趾  
 鹽原多助之墓  
 五料關趾  
 朝子塚古墳  
 臺源寺館趾  
 新田義重之墓  
 館林城趾  
 中塚古墳  
 藥師塚古墳  
 牧關趾  
 小栗上野介之墓  
 埴輪製造竈趾  
 永仁之板碑

六  
 吾妻郡原町  
 利根郡新治村  
 同村  
 佐波郡芝根村  
 新田郡澤野村  
 同寶泉村  
 同太田町  
 邑樂郡館林町  
 勢多郡新里村  
 群馬郡上郊村  
 同金島村  
 同倉田村  
 多野郡美九里村  
 北甘樂郡小幡町

根小屋關趾  
 碓氷關趾  
 大戸關趾  
 戸倉關趾  
 御幣山古墳  
 伊勢崎城趾  
 鹿田古氏製造竈趾  
 新田氏累代之墓  
 新田義貞之墓  
 前二子  
 中二子古墳  
 後二子  
 瀧澤石器時代遺趾  
 上野國分寺趾

七  
 同西牧村  
 碓氷郡白井町  
 吾妻郡坂上村  
 利根郡片品村  
 佐波郡玉村  
 伊勢崎市  
 新田郡笠懸村  
 新田郡寶泉村  
 同太田町  
 勢多郡荒砥村  
 同橫野村  
 群馬郡元惣社町

淺間山古墳  
 大鶴卷古墳  
 二子山古墳  
 山王塔趾  
 多胡碑  
 山上碑及古墳  
 金井澤碑  
 七興山古墳  
 女體山古墳  
 高山彦九郎宅趾  
 同 遺髮塚  
 金山城趾  
 義貞舉兵傳說地  
 二子山古墳

八

同 倉賀野町  
 同  
 群馬郡惣社町  
 同  
 多野郡吉井町  
 同 八幡村  
 同  
 同 美土里村  
 新田郡太田町  
 同  
 同  
 同  
 新田郡生品村  
 前橋市

箕輪城趾  
 水上石器時代住居趾  
 新田館趾

天然記念物及名勝地

横室の大榎  
 榛名神社矢立杉  
 生犬穴  
 龜甲石產地  
 妙義神社大杉  
 安中、原市杉並木  
 原町大櫨  
 川原湯岩脈  
 華藏寺の金木犀

九

群馬縣箕輪町  
 利根郡水上村  
 新田郡生品村  
 勢多郡富士見村  
 群馬郡室田町  
 多野郡上野村  
 同  
 北甘樂郡妙義町  
 碓氷郡安中、原市  
 吾妻郡原町  
 同 長野原  
 伊勢崎市



所在地不公示

邑藥郡中野村

前橋市

高崎市

前橋市

吾妻郡嬭戀村

赤城南面

群馬郡小野上村

多野郡三原村

同上野村

利根郡片品村

勢多郡富士見村

多々良むじなも  
かもしか

金木犀

岩神の飛石

白木蓮

枝寄り松

鬼押出

銚子の伽藍

岩井洞

三波石

不二穴

日光國立公園

尾瀬沼燧岳

縣立赤城公園

佐波郡宮郷村

同新治村

同池田村

同根郡水上村

同利根郡根水村

同六台村

同吾妻郡嬭戀村

同水郡嬭坂町

同西牧村

同北馬郡聖田町

同群馬郡聖田町

同

同

連取松

三國葉山

水迦上山

武尊山・谷川

野反井

鳥里

六間

淺雅

荒船

神津

黒瀧

立名園

縣立名園

同 同  
 群馬郡總社町  
 宮城村赤城神社  
 桑原政榮氏市  
 (前) 桑原橋  
 (大) 勢多郡荒砥社  
 (西) 群馬郡上野寺村

山田郡川内村  
 新田郡笠懸村

三一

根 卷 石  
 石 製 尾 殘 片  
 石 製 尾 鴟 尾  
 石 製 尾 鴟 尾  
 立 原 香 所 八 曲 屏 風  
 四 神 付 飾 上 器  
 藥 師 出 土 品  
 管 玉、玻璃 玉  
 鏡、馬具、玉

重 要 古 美 術

高 津 戶 美 阿  
 高 津 戶 美 阿  
 高 津 戶 美 阿

白崖禪師畫像  
 銅製毛彫千手觀音像懸佛  
 形象埴輪四箇  
 岩 版  
 石 造 寶 塔  
 太 刀 銘 秀 近

佐波郡泉龍寺  
 同 殖蓮村  
 伊 勢 崎 市  
 新田郡世良田村  
 同 郡長樂寺  
 高 崎 市

明 治 天 皇 御 聖 蹟 地

澁川町、新町、原市町、白井町、前橋市、高崎市 以上六ヶ所

國 寶

鐵造阿彌陀如來坐像  
 白 銅 月 宮 鑑  
 梅 雀 文 樣 銅 鏡  
 竹 虎 文 樣 銅 鏡

勢多郡芳賀村善勝寺  
 北甘樂郡一ノ宮町  
 貫 前 神 社

了戒ノ太刀

### 國寶建造物

貫前神社本殿  
藥師堂  
玉村八幡宮本殿  
雷電神社境内稻荷神社

省略せし箇所もあり御諒承乞

一四

新田郡世良田、東照宮

北甘樂郡一ノ宮町  
吾妻郡澤田村  
佐波郡玉村  
邑樂郡伊奈良村

## 上州路山の旅コース 上越沿線

名稱	汽車・電車		徒歩コース	徒歩 區間 間軒	史蹟・名勝	宿泊所	山の旅 コース
	往	復					
榛名山2	上野伊香保	高崎上野	伊香保湖、磨墨峠、ガラメキ、物見塚、相馬ヶ原、箕輪町、高崎	六	伊香保、榛名湖、ガラメキ、大平の櫻、榛名山南面の展望、箕輪城跡	伊香保一泊	伊香保山の旅
水澤觀音	上野澁川	伊香保上野	澁川、西浦、水澤、船尾の瀧、見晴臺、伊香保	三	水澤觀音、觀音丹次の遺蹟、船尾の瀧、伊香保		
子持山	上野澁川	沼田上野	澁川、北牧寄島、横堀、八木澤、子持、中山、峠、中山、沼田	四	利根、吾妻の山々展望		
水澤から箕輪へ	上野伊香保	高崎上野	伊香保、水澤觀音、黒髮祠、相馬ヶ原、箕輪、高崎	三	水澤寺、上武平野展望、黒髮祠、相馬ヶ原、箕輪城跡、上芝の古墳		
佛岩	上野後閑	水上上野	後閑、猿ヶ京、佛岩、水上	三	猿ヶ京、川古、佛岩、奥利根の山々、水上	水上又は猿ヶ京一泊	
赤澤越え	上野後閑	澁川上野	後閑、法師、赤澤山、四萬、澁川	四	湯宿、猿ヶ京、四萬溪谷、法師、赤澤峠、四萬	法師又は四萬一泊	

一五

信越沿線

浅間高原	霧積	碓井峠	妙義山2	西上州 バナラマ
上野 沓掛	上野 輕井澤	上野 輕井澤	上野 松井田	上野 群馬八幡
澁川 上野	横川 上野	横川 上野	磯部 上野	高崎 上野
沓掛 鬼押出 澁川	輕井澤 熊野權現 霧積	輕井澤 碓井峠 熊野	松井田 妙義神社 磯部	群馬八幡 八幡宮 林山達摩寺 觀音山
〇	二四	〇	二三	九
鬼押出、高原つつじ、養狐場	碓井峠、熊野權現、霧積、 澁川關跡、アプト式、金網の瀧	熊野權現、碓井峠、紅葉、 アプト式鐵道、裏妙義の景觀	上毛三山の奇岩怪石、紅 葉、妙義神社、中の岳、石門 大の字、磯部	八幡村八幡宮、少林山達摩寺 榛名山方面展望、白衣大觀音 洞窟觀音、清水鑛泉、清水寺
新鹿澤一泊	霧積一泊		磯部一泊	
山津草	碓井輕部磯 旅の山澤			

綾戸峽と築	尾瀬沼
上野 岩本	上野 沼田
澁川 上野	沼田 上野
岩本 渡瀨 綾戸 澁川	沼田 古仲 三平峠 尾瀬沼 アテ坂
四	四〇
澁川落合の築、綾戸峽、綾戸の築	尾瀬沼、原始林、大濕原、高 山植物、浮島、吹割の瀧
	長藏小屋 一泊
	旅の

六林斑峠	奥日光	藤原	天神峠	迦葉山	吾妻溪谷	三國越え	治武新道
上野 沼田	上野 沼田	上野 湯檜會	上野 土合	上野 沼田	上野 澁川	上野 後閑	上野 後閑
尾尾線 原向 淺草	日光 淺草	湯檜會 上野	湯檜會 上野	沼田 上野	高崎 上野	湯澤 上野	後閑 上野
沼田 追貝 源公平	沼田 追貝 丸沼 菅	湯檜會 藤原 寶川	土合 西黒澤 天神峠	沼田 透門 迦葉山	澁川 吾妻溪谷 川原	後閑 法師 三國峠	後閑 猿ヶ京 法師
三	四	〇	五	八	二	三	〇
老神、小瀧川之美、足尾銅	追貝吹割の瀧、白根、丸沼	湯檜會、水上、溪谷大倉	上越國境展望、谷川岳、湯檜會、水上	上州一の靈山、天狗様、胎内	岩井洞、岩櫃山、吾妻溪谷、 川原湯、仙人窟、忠治地藏	舊三國街道、大盤若塚、古戦場、三國權現、上越國境展望	法師、笹の湯、湯島、湯宿、上越國境展望、舊三國街道
老神一泊	白根又は丸沼一泊	寶川又は湯檜會一泊	水上又は湯檜會一泊	彌鞆寺一泊	川原湯一泊	法師一泊	法師又は笹の湯へ一泊
山瀬尾、神老	旅の山根利奥			旅山湯川 の原	旅の山入		

東武沿線

華藏寺と長樂寺	阿佐美沼と高津戸峽	城沼と文福茶釜	金山1	赤城山4	赤城山2
浅草世良田	新大間々	浅草茂林寺	浅草太田	浅草大胡	浅草水沼
伊勢崎雷門	簀塚浅草	館林浅草	簀塚浅草	前橋上野	敷島上野
世良田伊勢崎宮郷 村蓮取の松伊勢崎 華藏寺公園伊勢崎	新大間々高津戸峽 佐美沼簀塚	茂林寺花山公園館	太田高山神社大光 院金山三枚橋驛	大胡赤城神社瀧澤 大洞一杯清水前橋	水沼利平茶屋鳥居 峠大洞深山敷島
八	八	八	八	三	三
長樂寺の史蹟、記念物、蓮取の松、華藏寺公園、坂東大橋、利根河畔の月見草	高津戸峽ながめ、阿佐美沼、簀塚	茂林寺の文福茶釜、城沼、花山	高山神社、大光院、新田城趾、關東平野展望、簀塚	大胡城趾、大前田英五郎墓、忠治窟、赤城神社、不動瀧、瀧澤、湯の澤、銚子の伽藍、小沼、大沼、忠治	上毛三山の雄、大沼、鳥居峠の眺望、赤城神社
			日歸り又泊は簀塚一	大洞忠治一泊	大洞一泊
	旅の山塚簀		旅の山城赤		

首塚	薬師	神津牧場	高岩	仲木澤	萬座	草津
上野安中	上野輕井澤	上野輕井澤	上野横川	上野横川	上峠須坂	上野長野
磯部上野	澁川上野	下仁田上野	横川上野	松井田上野	草津上野	草津上野
安中原市磯部	大湯川原湯澁川	輕井澤北輕井澤栗 平峠薬師鳩の湯 山鞍部高立神津牧 場三瀬本宿下仁	横川八山恩賀高 岩赤坂鑛泉横川	横川仲木澤内籠り 小竹松井田	須坂山田萬座草	長野上林丸池 熊の湯澁峠芳ヶ 平草津
四	六	三	三	八	三	三
新島先生の生家、安中杉並木八幡古墳、首塚、磯部	薬師、鳩の湯、川原湯、吾妻溪谷	神津牧場、西上州大観、荒船の北壁、一本岩	高岩奇峯、赤坂、裏妙義の景観	裏妙義の景観、仲木澤の溪流内籠り、ちようすの頭	萬座、白根噴火口、五色山田、草津	志賀高原、澁峠、白根山、香草津、草津、殺生河原
	か原湯何れ泊	鳩の湯、薬師、川			萬座一泊	草津一泊
		神津牧場一泊	旅の山義妙			旅の

高崎沿線

相馬ヶ原	三波石1	三波石2	榛名山1	不二穴
上野 高崎 前橋 上野	上野 新町 新町 上野	上野 本庄 新町 上野	上野 高崎 澁川 上野	上野 新町 新町 上野
高崎 箕輪 相馬ヶ原 大平 黒髮祠 相馬 校 金古 前橋	新町 美九里 鬼石 三波石 寒櫻山 鬼石 坂原 新町	本庄 金讚 鬼石 三波石 新町	高崎 榛名山 湖畔 伊香保	新町 萬場 新羽 不二穴 新羽 新町
三	六	四	八	三
箕輪城趾、青年道場、相馬ヶ原、物見塚、大平の櫻、黒髮	三名川貯水池、八鹽、寒櫻寺の双輪塔、坂原溪谷、淨法	金讚神社、元山大師、三波石八鹽、土師神社	上毛三山の、榛名神社、榛名湖、伊香保	三波石、神津川溪谷、不二穴鐘乳洞、龜甲石、山中地溝帯
	八鹽一泊		伊香保一泊	中里又は新羽一泊
	旅の山鹽八			

上信電鐵沿線

妙義山1	上野 下仁田 松井田 上野
下仁田 上小坂 中の岳 見晴臺 妙義神社 松井田町	上毛三山の、奇岩怪石、紅葉、妙義神社、中の岳、石門
八	

上野三碑 巡り	荒船山	黒瀧山	一の宮よ 磯部
上野 吉井 山名 上野	上野 下仁田 下仁田 上野	上野 下仁田 下仁田 上野	上野 一の宮 磯部 上野
吉井 多胡碑 中山峠 寺尾 金井澤 碑 山	下仁田 本宿 三瀬 荒船山 星尾 尾澤 下仁田	下仁田 小澤 不動寺 下底瀬 六車 下仁田	一の宮 宇田 磯部
〇	〇	〇	〇
日本三碑の一多胡碑、中山峠、永福寺、金井澤碑、山上碑、山名八幡、御野立所、寺尾城趾	荒船の臺地、劍ヶ峯、上信の瀧山、線ヶ瀧、木の葉石、黒瀧山	不動寺、黒瀧山、九十九谷、幕岩	貫前神社、敬神道場、宇田観音、新田山、城山公園、磯部首塚
	泊 下仁田一		
	旅の山面方野多		

兩毛沿線

赤城山1	赤城山3
上野 前橋 前橋 上野	上野 前橋 上神梅 浅草
前橋 新坂下 大洞 小沼 地獄谷 一杯清 水 前橋	前橋 新坂下 大洞 小沼 梨木 上神梅 貴船神社 上神梅
〇	二六
上毛三山の雄、赤城神社、大沼、小沼、つつじ	大沼、つつじ、黒檜山、血の池、小沼、梨木、貴船神社
	梨木一泊
	旅の山木梨



上野 沼田 川場 老原 穴 白根

丸沼 日光 湯本 中禪寺 日光 上野

第四コース

上野 磯部 横川 霧積 鳩ノ湯 薬師

川原湯 澁川 上野

第五コース

上野 輕井澤 草津 湯ノ平 澤渡

四萬 法師 後閑 上野

第六コース

上野 輕井澤 三原 新鹿澤 鹿 萬座

山白根 越根 草津 川原湯 澁川 上野

第七コース

上野 澁川 伊香保 澁川 大胡

忠治 赤城山 大洞 梨木 上神梅 雷門

上神梅又ハ新大間々 淺草雷門

汽車 自動車 徒歩 電車





湯山さらく、小笹も白く

ふわり小雪に アラ冬が来た

●付記

藪塚鑛泉は目下産業戦士憩ひの湯として會社に一任し一般入湯者は御断りしてゐる。

梨木鑛泉

勢多郡黒保根村

足尾線上神梅驛下車 徒歩 五軒

東武線新大間々驛ヨリバス 梨木口下車 徒歩、四軒

溪流深く脚下に展げ、高津戸峽の絶景を賞でつゝ行けば、足尾線ありバス道路あり、梨木口の景觀は實に嵐山の風光に相通するの感ありと稱せらる。一

梨木口より一條の路線は鬱蒼の林間を縫うて進み、登り四軒にして梨木鑛泉に至る、山愈々深くして閑、盛夏と云ふも八十度を越へる事なしと言はる。

夕靄は大赤城の嶺より舞ひ下り、朝霧は身近に浮動する邊り、浮世離れの感あり。

旅館は一軒なるも、悠に千人を收容し得る設備ありと云はるる閑寂境である、此處より茶の木畑峠八丁峠を経て小沼大沼に至る十二軒のコース、急登りなるも途中の風光實に美しく疲れも忘れて歩行めるのである。

湯の起源は口碑に依ると、坂上田村麿呂の開場とも言はれ、又一説には正徳年間梨木祐元が來湯して病を治療せしに依り此の名ありとも傳へらる、療養本位の湯として知らる。

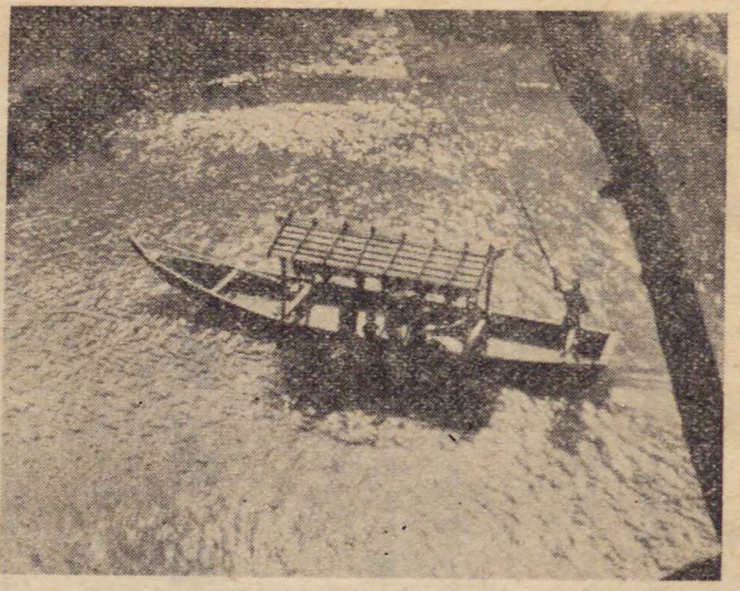
梨木小唄

梨木湯がへり 一里の峠

病ばかりか 心も晴れて

馬の背で見る 馬の背で見る

ハア 赤城山 ソレ 赤城山



高津戸峽 新井榮一 撮影

泉質及效能

食鹽炭酸泉、胃弱、便秘、粘膜炎カタル、婦人病、皮膚病、リウマチス、神經痛

旅館 一軒  
附近の勝地

赤城山、貴船神社、瀧澤不動、大瀧

### 松葉鑛泉

勢多郡黒保根村

足尾線水沼驛下車 七 紵

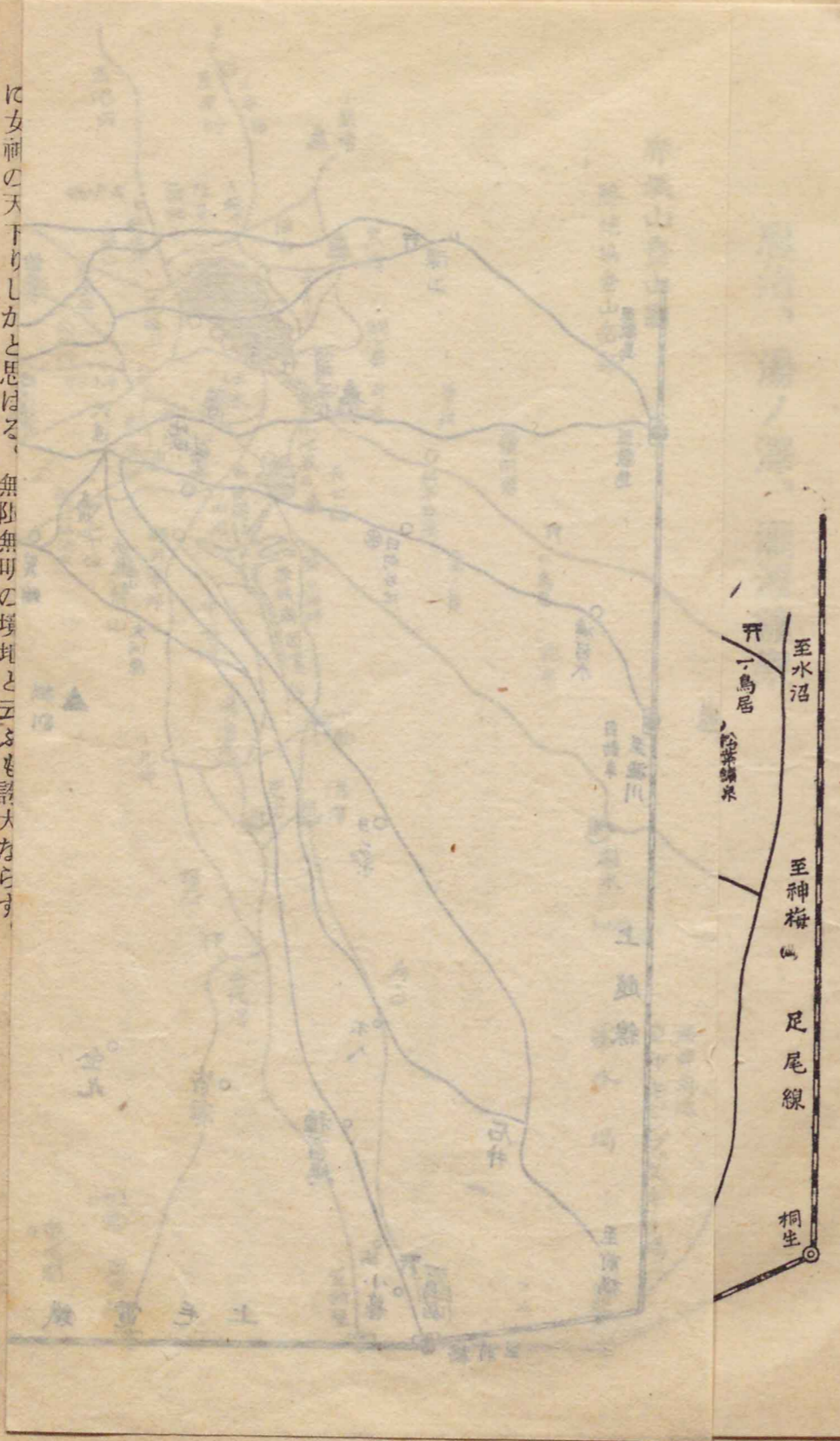
六月ヨリ八月マデ此ノ間六紵バスノ便アリ

赤城東麓渡良瀬を眼下に、松籟しきりなる山中にして、人戀しきまでに静かなる松林の中にあり  
登山道水沼口にして大洞まで登り急なるも道最も近し赤城一日のハイキングの戻り汗の一風呂を流  
すも又趣きあるなり。

泉質及効能

炭酸食鹽泉、胃腸病、皮膚病、神経痛、リウマチス

旅館 一軒



に女神の天下りしかと思はる、無陸無町の埒地と云ふも誇大ならず

# 松葉鑛泉

勢多郡黒保根村

足尾線水沼驛下車 七 軒

六月ヨリ八月マデ此ノ間六軒バスノ便アリ

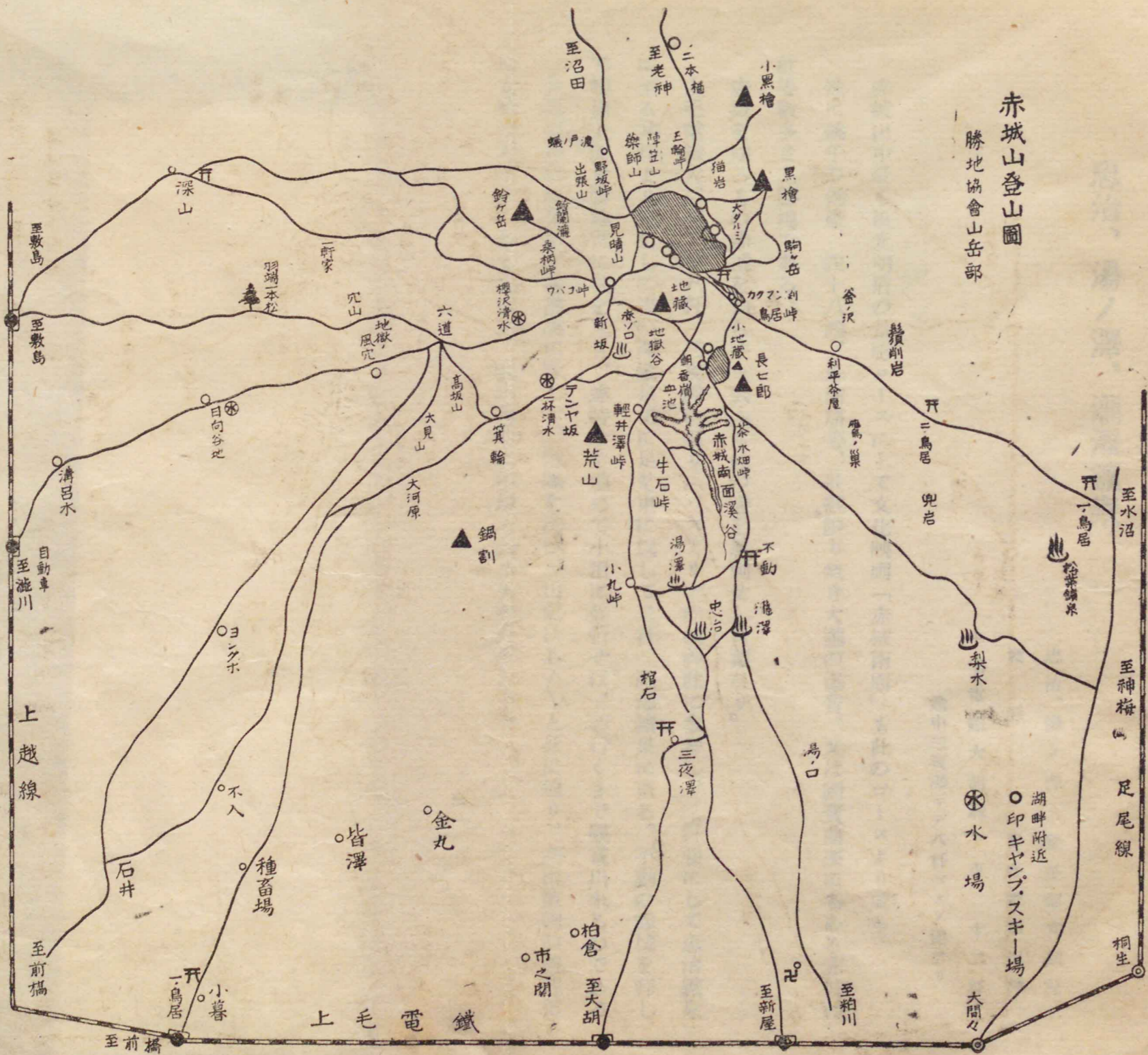
赤城東麓渡良瀬を眼下に、松籟しきりなる山中にして、人戀しきまでに静かなる松林の中にあり  
登山道水沼口にして大洞まで登り急なるも道最も近し赤城一日のハイキングの戻り汗の一風呂を流  
すも又趣きあるなり。

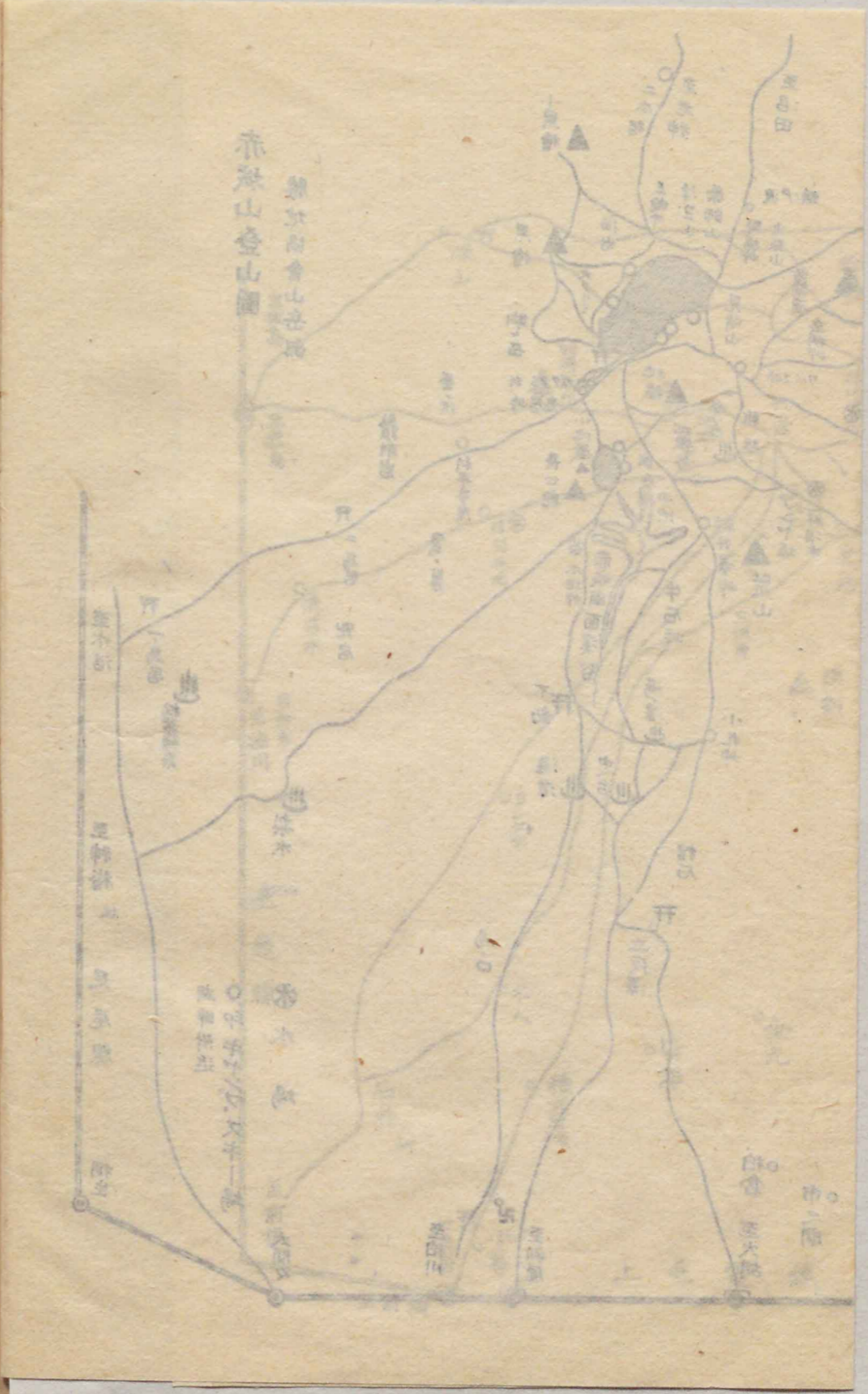
泉質及効能

炭酸食鹽泉、胃腸病、皮膚病、神経痛、リウマチス

旅館 一軒

## 赤城山登山圖 勝地協會山岳部



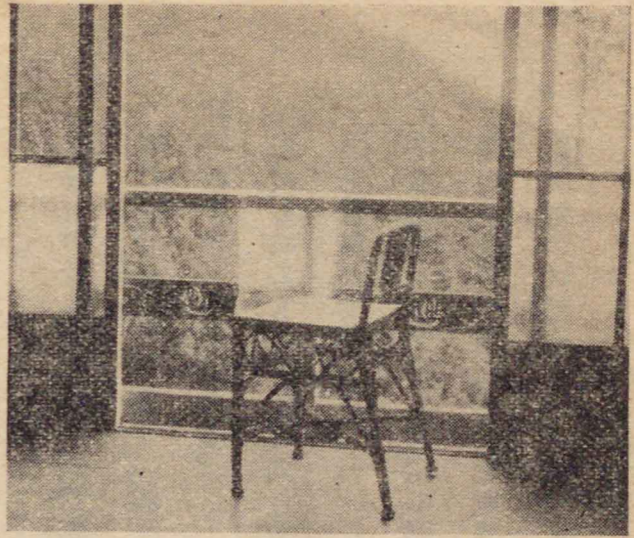


忠治、湯ノ澤、瀧澤鑛泉

忠治、湯ノ澤 勢多郡宮城村  
 瀧澤 勢多郡粕川村  
 上毛電鐵大胡驛下車 十二軒  
 途中三夜澤マデ八軒バスノ便アリ

赤城山中最も風光明盾の景勝コースにして文化映画「赤城南面」も此のコースより成る。  
 殊に銚子の伽藍、四十八瀧、忠治窟等、壯觀限り無き大瀧の瀑音、又は國寶曲玉に名ある赤城神社等數多き名勝地である。

赤城を知るもの赤城を知らずと云ふも此の邊を風刺せし言葉なり。  
 上毛電鐵大胡驛下車八軒、三夜澤に至り(バスアリ)赤城神社に參拜し、二軒強にして忠治鑛泉に至る其れより左折して湯の澤鑛泉更に足を東に返して二軒、瀧澤鑛泉に至る。不動の靈域を拜して粕川上流景勝地區に杖を曳き、遂時歩を進めて小沼に強行せば、心行くまで觀賞出來るのである。夢現堺か桃源郷か、幽禽溪に呀して、俗塵を洗ひ、山氣ひしくと身に迫り、高山植物の幽芳正に女神の天下りしかと思はる。無限無明の境地と云ふも誇大ならず。



忠治 鑛泉 田口維亮撮影

粕川の行きづまり、銚子の伽藍からは數軒にして小沼に達す。  
途上、躑躅の大群生、限りなき名も云ひ知れぬ千草咲き添ひ、  
赤城山初夏の粧いは實に美しき極みなり。

山も人も馬も躑躅の緋に燃ゆる 白鳥

輕井澤峠の眺望や關八州の風光、指呼の間に望み得られ其の剛  
壯大自然のパノラマ、天工の巧みに傾頭す

登山の途中か、或は下山コースの一時、忠治温泉に一風呂浮  
世の塵を流さんか、壯快、剛氣、沸然として湧き明日の職場に輕  
快なる可きを聯想す。

ア―木の間がくれに忠治の窟

麓大胡の灯に下る

―民

赤城夕焼 旅がらす ア―腰のわざもの伊達にはさゝぬ

謠―ア―赤城南面ハイカーが下る なさけ誠の意氣でさす

泉質及效能

炭酸泉、消化不良、尙僂病、皮膚病、外傷

旅館 六軒

附近の勝地

赤城神社、瀧澤不動院、忠治窟、大瀧、銚子の伽藍、櫃石、大胡城趾

梨木忠治温泉附近山ノ旅コース

前橋口 (兩毛線)

前橋驛 バス三十分 小暮 徒歩十六軒 大洞  
八軒廿五錢 四時間箕輪經由

大胡口 (兩毛線 東武線上毛電鐵)

前橋驛 徒歩八分 中央前橋驛 二十分 大胡驛 八軒バス 三夜澤 徒歩十二軒 大洞  
八〇〇米 二十五錢 六十錢 三時間地藏經由

敷嶋口 (上越線)

敷島驛 徒歩二十軒 大洞 (穴山、六道、新坂經由)  
五時間

澁川口 (上越線)

澁川驛 徒歩廿四軒 六時間 大洞 (六道、新坂經由)

老神口

老神温泉 徒歩廿五軒 六時間半 大洞 (鷹ノ巢、二本槍經由)

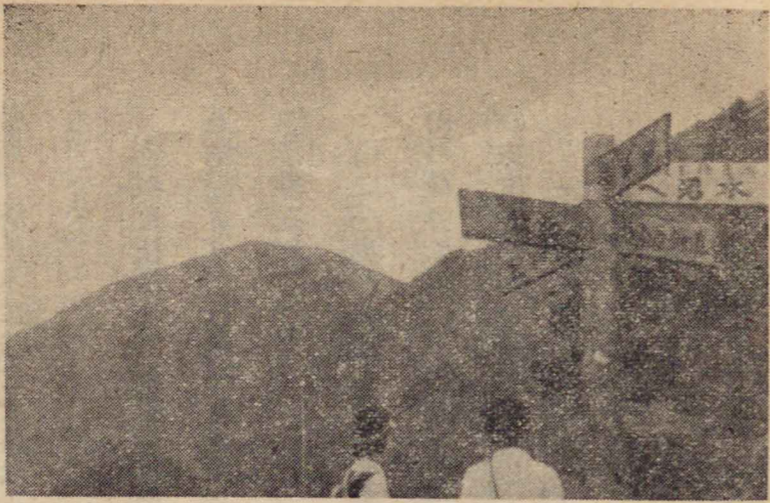
水沼口 (足尾線)

水沼驛 徒歩十四軒 四時間 大洞 (利平茶屋、鳥居峠經由)

梨木口 (足尾線)

神梅驛 徒歩十八軒 五時間 大洞 (梨木鑛泉、茶ノ木畑經由)

注意 各登山口自動車アルモ記入ナキ箇所ハ目下イツレモ運休



赤城山健歩 安井榮太郎撮影

上毛三山の雄、大赤城山、さすがに其の威容は嚴たるものがある。最近前橋驛より山に至る三分の一度度しかバスも行かず従来前橋口が、登山は一番簡単であつたものが、今日では逆に一番強歩コースとなつたのである。

水沼口、梨木口、大胡口の三コースがいつれも、急登りなるも料に於て近く殊に大胡口は途中三夜澤までバスを利用せば、僅に十二軒にして頂上に達し得るのである。而し相當の登山山路である。

赤城南面の景趣は、史蹟、神社と共に極めて先人偉業の跡歴然たるものあり、古考學的存在も又多きコースである。

赤城山は四方より登り下り自由にして、キャンプ鍊成の如き湖邊に一夜を明かさか、仙境神秘の感あるなり、雪質最もスキーに好適であり、交通に今一步恵まれるれば總べての點に於て、縣下唯一の名山たるの風貌を備へて居る。

伊香保温泉から澁川を経て、溝呂木、或は敷島驛より登山も出来得るが、登りコース稍困難である、而し赤城の南面から東口、梨木、水沼口より登り、頂上を極めて下りコースとして西口、即ち敷島、溝呂木に路をとるならさまで困難でなく、伊香保或は吾妻、利根温泉郷へと聯絡も可能である。

赤城を横断して長驅老神温泉に至る強コース、即ち頂上湖邊より、二本檜を経て二十五軒老神に強剛健歩も又趣きあるなり。

山は一步一步確く踏みしめて始めて眞の面白さあり、山の温容に絶大の親しみを感じるのである、赤城山の眞の味はひは確く踏みつけるところに在りと云へる。

赤城山キス進行譜 江橋郷撮影



## 伊香保温泉

上毛三山の一つ榛名山中腹に在り、眺望極めて良く、小野子山、子持山と相對し、はるか南には三山の雄赤城山を一眸に俯瞰し得。

交通にめぐまれたる山の湯にして、子供連れハイキング健康コースとして少しの心配苦勞もなく行ける點等理想境地である。

避暑、避寒いづれにもよく、名勝風致に富み山上に縣立榛名公園ありて冬のスキー、スケート、公魚釣り、夏は湖畔にキャンプの一夜を明かすなど、興趣つきる事なし。

湖に夜毎キャンプハイヤー更けにけり

白鳥

温泉の町より頂上を極めて六軒、湖畔を經由して榛名神社あり、鬱蒼の古杉苔蒸す岩壁おのづから襟を正さしむ、縣下十二社の一にして寶物珍器あり、又境内に天然記念物「矢立杉」等巨木天を摩し壯嚴の中にも古き歴史を思はしむ。

伊香町北端よりケーブルあり、山上バスあり、歩行も乗るも自由に於て、山にはめづらしく交通

群馬郡伊香保町

上越線澁川下車 八 軒

東武電車及バスアリ



機關完備す。

温泉の起源は極めて古く崇仁天皇の朝、己に湧出せしものと稱され、萬葉集東歌にも其の名ありて、我が國有數の名湯である。

明治中期、小説不如歸の作者此の湯に筆を起せしと云はれ、今尙わらび狩りの丘に浪子の碑等あり又町より四軒下りて坂東札所十六番の名刹水澤觀音の堂宇鎮まる。

旅館は近代設備整ひ、收容力も多く貸別荘等もありて、明朗の氣分、氣安さを感じ。  
泉質及效能

土類鹽類性含鐵酸泉、貧血症、胃腸病、婦人病、神經諸病。

### 伊香保ニ上リ

春は長閑な水澤あたり

蝶とたわむるわらび狩り

夏は涼しい湖水のながめ

うつる姿は榛名富士

秋は三山が織りなす紅葉

わたしや御前に氣を紅葉

冬もよい／＼湯瀧を浴びて

寒さ知らずの 雪見酒

伊香保／＼と皆様のぼる

登る湯煙り 千代八千代

湯の町伊香保コースの文化映画も當會映画班の作に依り完成したが、石段の町と云ふ如く、温泉は湯の町高所より大量に湧出し湯口は各旅館に引かれる故、立ち並ぶ高所の宿も急坂を下りて低所の家も瀧となつて落込み豊富なる湯はあふれて居り、いづれの旅館も前方に向つて展開し、其の眺望は實に佳く、全國稀れに見る急坂に造られし家並である。

山の湯宿は、概して溪間地に多き傾向なるも伊香保のみは斜面急坂帶狀に展げ、三方開放のめぐまれし明るさを有せるなり、加ふるに其の湯量斷然豊富にして特效あり、天下の名泉として知らる

榛名湖スケッチ 茂木留司撮影



ゝも又當然と云ふべきなり。

僅か七、八軒の麓町澁川邊の夏は蚊に惱まざるゝも、伊香保の夜は山の大氣に冷へ蚊帳などは考への外である。夏空に反映する夜半の灯は指呼の間にありながら山の湯としての感、實に深きを思はしむ。

伊豫に道後、攝津に有馬ありとしても、群馬に伊香保、草津の名湯を始めとして其の數、其の量に於て、其の設備に於いて、而も其の效能に於て、全國に冠たるは贅言を要さぬのである。かゝる大資源を有効に利用せんこそ神の恩恵に應ゆる唯一の方策と信ず。

旅 館 三十四軒

附近の名勝

榛名山、榛名神社、辨天瀧、伊香保神社、見晴し、七重瀧、物聞山、水澤觀音、榛名湖釣魚、帆船

### ガラメキ鑛泉

群馬郡相馬村

高崎驛下車十一軒箕輪迄バスアリ  
箕輪ヨリ 十一軒

伊香保温泉に近く、相馬山下閑寂境に在り、前橋驛からも箕輪行き自動車あり、又東武水澤口下車水澤觀音經由六軒にて達す、榛名山よりは摺臼峠を経て四軒山の味に浸りつつ行けると云ふ鑛泉地なり。

泉質及效能

鹽類泉、火傷、皮膚病

旅 館 二 軒

伊香保附近—山ノ旅コース—

高崎—榛名神社—榛名湖—相馬山—榛名ケーブルカー驛

(伊香保一泊)—見 晴—物聞山—物聞橋(伊香保入口)—水澤寺—澁川驛

榛名山は記述の如く高崎よりもバスあり。普通澁川驛より伊香保に行く電車利用コース最も便なり、又吾妻郡より湯中子經由も可能にて、急登難コースと云ふ程でないのも榛名山であり、又箕輪町

經由徒歩も新緑より紅葉期までは非常に面白きコースである  
眞に登山的味を得んには、水澤より山中ガラメキ鑛泉經由  
それより相馬山下に出で神社参拝をなすこそ、剛健コースと  
して最も興味がある。

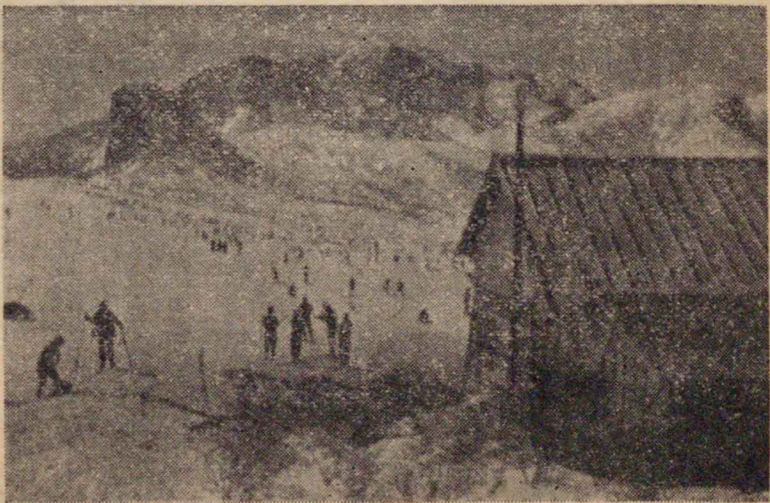
いづれにしても、奥利根や吾妻方面の山に比し其の規模稍  
浅きを感じるも、伊香保の名泉始め、附近に古墳名勝ありて  
家族連れハイキング等には忘れ難きコースなり。

幸いに、登上危険の箇所ほとんど無く、物々しき登山用具  
の必要もなく、切心者の鍊成地として推奨すべき山である。

伊香保温泉を中心として、各々一日コースを選定して見る  
のも又面白く紙上には一、二の例を示せるに過ぎざるなり。

冬の鍊成にも非常に恵まれし位置にあり、スキースケート  
に疲るれば休みがてら榛名湖上の公魚釣りに興づるもよく、いで湯に一日の疲れを流すなど、到れ  
りつくせりの天與地と云ふべきなり。

影撮一榮井【新 場一キス一第名榛



### 子持山コース

澁川	バス十五分	中郷(神社入口)	徒歩二十分	雙林寺	徒歩五十分	子持神社	徒歩五十分
奥の院	徒歩二時間半	子持山頂	徒歩下り一時間	八木澤	徒歩一時間十分	寄島	バス二十分
							澁川
							十五分
							錢

伊香保の歸りか或は利根、吾妻方面山旅に一日の餘地あらばこの山に登るもよく、又縣内各市よ  
り一日鍊成コースとして婦女子にも楽しく登れるのである。

途中白井の雙林寺に、七不思議の由來を探り、寺寶を參觀する等考古的にも趣味とハイキングに  
好條件の所である。

三軒餘にして子持神社に至れば、東北南一望に展げ銀帶大利根の流れは曲折し壯麗の極致、心氣  
一轉すべし。

山路を北にとれば利根郡岩本に通じ剛健コースとしても満喫し得べきと云へる。  
吾妻川を眼下に、昨夜憩ひの夢を結びし伊香保温泉など、箱庭の景を見るが如くに別の趣きを感じ

するなり。

萬葉集東歌にも子持山は詠まれて居り古くから人に親しまれて居た山である。雙林寺に近く白井城趾、三百六十有八年榮へしさまをうかがひ知るのも又面白い。

水澤觀音から榛名山麓を横なぎに歩行みて黒髪神社、相馬ヶ原を經由箕輪城趾に至るコースも史蹟巡りとして趣味の山路である一体榛名山は他の山に見るが如く峻嶮或は懸崖の箇所等極めて少なく行き易く登り易き山である行樂の山として氣軽く行けるのも特長の一つである。

### 大室・利根温泉

利根郡桃野村 大室温泉  
同 古馬牧村 利根温泉  
上越線上牧驛下車 驛附近

山から山、峽から峽、山峽一つ越ゆれば白煙立ち込む温泉あり、天恵に無限の感謝而る可きと云ふ處に秘境利根温泉在り。

清流白蛇と蛭り聲なき淵となるあたり川をはなれて左岸に利根温泉、右岸が大室温泉で、風物漸新四季それらの變化に富み、殊に一籽距て、上牧スキー場、更らに西五籽に大峰スキー場ありて山スキーの好適地として知らる。

泉質及效能

石膏性苦味泉、神経痛、リウマチス、皮膚病

旅館 二軒

附近の勝地

諏訪峽、高橋お傳生家、白木屋お駒の墓、寺問の瀧、鹽澤瀧。

### 水上温泉

利根郡水上村  
上越線水上驛下車

湯 檜 會 温泉 ..... 南へ一軒弱  
 小 日 向 温泉 ..... 北へ一軒から三軒  
 大 穴 温泉 ..... 西北へ三軒  
 谷 川 温泉 ..... 北へ四軒  
 湯 檜 會 温泉 ..... 東北へ十四軒  
 寶 川 温泉

上越線湯檜會驛下車

湯 檜 會 温泉 ..... 南へ一軒から三軒  
 大 穴 温泉 ..... 南へ五軒  
 湯 日 原 温泉 ..... 西南へ六軒  
 谷 川 温泉 ..... 東へ十一軒  
 寶 川 温泉

上越と云へば水上かと誰もが聯想する程知られてゐる、澁川驛あたりから山・山・山、とまるで汽車は山にのみ突進して行くのである。それに利根川が、からまりついてゐるようになつたり流れ、沼田驛を過ぎるといよく急に溪は峻しく、水上に至れば千仞の谷、仰げば萬岳、それこそ文



水上景點 諏訪峽 新船忠撮影

字通りになつてくるのである。

奥利根溪谷美に感、久しうするのも不思議ではない、此の萬岳と清流をはさんで出で湯は沸々と湧出し、湯原小日向、大穴、谷川、湯檜會、少しはなれて寶川、湯の小屋とそれこそ温泉郷の言葉其の儘である。

總稱して水上温泉とも云ふのである。太古の山に對立するかの如き近代風の旅宿が立ち並ぶあたり、一寸田舎には見られ得ぬ風物詩である、避暑に、入湯に、スキーに、ありとあらゆる人々を招いてゐる。

山を語る者、おそらく谷川岳を知らぬ者はあるまい、各地の山々の勝れた點や、又山に鍊成する場合に、峻嶮の妙とも云ふべき、岩場或は氣象學の研究さへ出來得るのも谷川岳の特質であるとは岳聯關係諸氏の言葉にも聞かれるのである、健康増成に萬事整備せる場所と云つて差し支へのない天惠地區である。

## 湯原温泉

碧水したる處、急湍せまつて岩を嘯み、滾々溪に反響して山氣迫る、初夏の葉洩れ陽に玲瓏玉を轉ばす河鹿の鳴きすだくさま、音律は樂譜につくし得ぬ神技なりと云ふべき所に温泉郷あり。

都塵さけて 無我法悦や岩魚釣り

白鳥

泉質及效能

弱鹽類泉、下痢症、リウマチス

旅館 十軒

## 小日向温泉

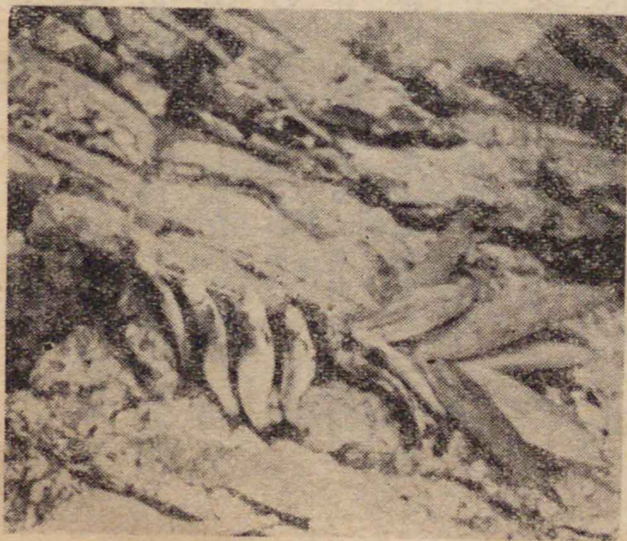
湯原温泉の對岸、重疊の山を背に位いす山紫水明の地、曰ク小日向温泉なり

木の芽粒らに湯煙り溪に吹かれけり

亞浪

旅館 一軒

水上風景 釣魚岩 茂木留司撮影



## 谷川温泉

呼べば答へん谷川岳を背負ひ、脚下には奔馳する溪谷、颯々の聲、正に閑寂境……。

春の夜の更けて溢るる、湯槽かな

鬼城

泉質及效能

鹽類泉、眼病、婦人病、胃病、神経痛、リウマチス

旅館 四軒

## 大穴温泉

谷川岳の支峰今倉岳の裾、名勝島神峽と大鹿橋との中間にあり、山脚稍々潤けし盆地にして、松生山に相對し、紅葉の美觀紅一色實に壯麗の極みなり。

泉質及效能

弱鹽類泉、胃腸病、婦人病、リウマチス

旅館 四軒

## 湯檜會温泉

湯疲れに寝入る旅の枕を揺られて桃源の夢より醒むれば、屋上高く慌しく汽車は去つて山に吞まれて行く……。

湯檜會温泉は驛よりも百數十尺も下に位いして静寂に湯煙りを吐いて居る。北から西へかけ峨々たる上越國境の連峰、几然として屹立す奥利根の感いやが上にも深まる。

昔は命がけで越路の旅に向つたが、文化の槌は重疊の山に喰ひ入り汽笛一聲寝ながら越後に行けると云ふ一大樂園地と化した、山路でなくては見られ得ぬ情緒殊の外深く、スキーに登山に或は行樂に、スポーツに、静養に、名だたる温泉郷であり、又國境への登行口でもある。

泉質及效能

食鹽泉、リウマチス、濕疹、腺病質、婦人病

旅館 三軒

## 寶川温泉 (藤原)

寶川温泉スケッチ

茂木留司撮影



水上驛から藤原横山までバス約五十分、それから徒歩約二軒、人里離れた幽仙境が寶川温泉である、せうらぐ川瀬にも人戀ふ風情あり、寶川溪谷或は寶泉峽のあたり浮世の塵に染まぬ別天地である。

文治建久の頃、奥州平泉の落人が隠棲せしところと傳へられ藤原は茲に因むと云はる。

泉質及效能

鹽類泉、皮膚病、眼病、喘息、胃腸病

旅館 一軒

## 湯ノ小屋温泉 (藤原)

國立公園尾瀬ヶ原の西方、笠、武尊より端を發する湯ノ小屋川に沿ふ盆地にして山氣溢れ俗界那邊にあるやを感じる神秘郷に湯ノ小屋温泉あり

旅館 一軒

湯ノ花温泉 (藤原)

奥利根原始林中を横山から二十軒の避地、湯量豊富なるも旅館なく山小屋あるのみの處なり、沸々と湯く湯に人工今尙届かぬ溪地である。

スキー場案内

水上驛附近

湯原スキー場

水上驛二軒

大原スキー場

三軒強

谷川温泉附近

谷川スキー場

水上驛二軒

保登野スキー場

水上驛三軒

大穴及湯檜曾附近

鹿野澤スキー場

水上驛附近

大穴スキー場	.....	水上驛二軒強湯檜曾一軒
土合スキー場	.....	土合驛一軒
藤原上ノ原スキー場	.....	水上驛十三軒 (湯檜曾驛十軒)

附近の勝地

大倉峽、島神峽、諏訪峽、水上峽、寶泉峽。

谷川岳

松生山の奇岩、稻荷瀧、洞元瀧、裏見瀧、鼻毛の湛、先住民族遺蹟

水上音頭 (拔萃)

七湯七橋 まつすぐござれ

戀の灯かげも

戀の灯かげもチラ／＼ト

利根小唄 (拔萃)

利根はよいとこ いで湯の郷よ／＼



湯の香流れてネ アリヤ花が咲くく

春になつたら 又來てネ

―奥利根新調― (拔萃)

山の紅葉がさつとさらく

湯原水上照りそう色に

おもひ谷川なほふかひ

### 川場温泉

利根郡川場村

上越線沼田驛下車 十二軒バス四十分

武尊山の南、二千有餘米の閑寂地、目前に赤城連峰あり、脚下に薄根川の瀬音迫るといふ清楚なもの如き山の湯である。

昔から脚氣川場と呼ばれる程療養本意の湯で、他の温泉と變つてゐるのは極めて低温の湯にもかかはらず人工を加へて適温とせず、温桁を枕として一時間でも二時間でも入浴する事を普通とし、

三十分や四十分で出ると早湯とさへ笑はれると云ふ、頗るノンビリしてゐるのである、中食を風呂でやり、五目並べをしながら一日湯に入つてゐる、と、一口話に出るのも此の微温湯生活の一場面である北方はるかに迦葉山聳へ、山腹に曹洞宗の靈場、龍華院彌勒寺と云ふ禪刹がある、法燈絶ゆる事なく一千有餘年、今尙堂塔伽藍壯麗を極め參詣する者四六時絶へづ正に靈境地域である、慈悲心鳥、佛法僧に殊に名あり。

途中手前二軒に鹽河原鑛泉あり又川場の東北二軒上流に小住鑛泉がある。

泉質及效能

鹽類泉、脚氣、リウマチス、神経痛、火傷、切傷

旅館 二軒

### 老神・穴原温泉

利根郡東村

上越線沼田驛下車 二十軒 バス一時間

沼田驛東方、秀峰赤城山北麓を従走して行く、赤城の美しさは又格別で大町桂月氏の如き眞の赤

城の姿は茲だと絶賞せしと云ふ。

片品川溪流に沿ふ岩壺から滾々と湧く温泉は美しき  
傳説となり、療養本意とも云ふべき出湯にして、附近  
溪谷の美しさは新緑、紅葉と季節的變化に富み画趣湧  
然、彩筆家、句作家いづれも詩囊を肥やすに充分と云  
はるる景勝地でもある。

湯は三ヶ所にあり、上ノ湯、下ノ湯、新湯と稱して  
ゐるが何れも岩を繰り抜き石塊にて堰き止めなぞして  
今尙原始的風味さへあるのである、野天風呂の風趣も  
又一興で風呂の中から川魚が釣れると云ふが石垣一重  
を境にして清流に事實魚が踊つてゐる。

對岸清流の下手に穴原温泉があり、繪の如き一條の  
釣橋にて往來し南画一幅の繪に勝る景觀地である。

温泉清澄透徹、實に氣持のよい湯で、尙其の下流に關場温泉がある。

老神温泉附近 宮崎彌一 撮影



泉質及效能

硫黄泉 温度四十六度

神経痛、リウマチ、皮膚病、痔疾

旅館 十五軒

附近の勝地

吹割瀧、追貝八景、千歳の奇橋、浮島、圓覺の瀧

十老神 小唄

ハア ころ白雪 戀ゆへ赤城

上州老神 なさけのお湯よ

君をまつ影 スキーの冬も

沼田六里を バスタより

ハア 明日はお立ちか 湯の香と共に

せめて一夜を 谷間のしぐれ

別れ惜しさに 片品川を

染める紅葉も いぢらしや

### 土出温泉

利根郡片品村

上越線沼田驛下車 三十八軒ハス二時間

全國稀に見る大濕原々始林、尾瀬と、丸沼經由日光線の分岐點にして、鎌田から北へ六軒山に特有素朴の所なりしが、最近各種の事業進展にともないて訪ふ人多し、片品川峡谷に泌々迫る奥山風情淋しきまでに靜閑なり。

更に尾瀬に向ふ途中に根羽澤温泉あり、山あるきにつかれし汗を流す、自然の思澤廣大無邊、神秘の大悲に讚歎す

### 白根温泉

利根郡片品村

上越線沼田驛下車 四十軒 バス二時間

日光國立公園圏内にあり、日光白根の西北麓大瀧川清流に沿ひ、菅沼、丸沼經由日光湯本に通ずる路邊に接す。

丸沼温泉に約十軒山又山は青葉の夏紅葉の秋、天帝の妙眞美、實に名狀致し難し。

泉質及效能

鹽類泉 溫度五十五度

胃腸病、腦病、リウマチス、婦人病

旅館 二軒

附近の勝地

大尻沼、丸沼、菅沼の連珠狀湖、白根山、大瀧川の鱒釣り、尾瀬沼

### 丸沼温泉

利根郡片品村

上越線沼田驛下車 四十八軒ハス三時間

日光白根に近く丸沼畔に在り、海拔千四百餘米にして炎熱百度の夏も、茲ばかりは別天地にして

涼しき朝夕は眞夏も又寒しと云ふも過言ならざるべし。

白根山に四軒山から山へ行かんか、林間白樺あり唐檜あり沼には數十種の魚族ありて釣にも倦くる事なし。

金精峠から日光湯本まで十二軒、更に中禪寺までのコースは眺望極めて佳き溪観あり。山容せまらざる四季の眺め無盡の秘境地である。

殊に附近に繁茂する高山植物は尾瀬沼一圓に其種類千餘に及ぶと稱され稀には珍寄の肉食植物もあり、科學の杖を曳かんか無限の原始林たるを感じべし。

泉質及效能

硫黄泉 温度四十二度

胃腸病、外傷、リウマチス、濕疹、腦背髓

旅館 三軒

附近の勝地

尾瀬沼、菅沼、大濕原、白根山

尾瀬の植物六月上旬より開花し始む。水芭蕉狸々袴立金花峰櫻等幾多の高山植物或は大濕原あり、神秘境たり  
六月中旬より十月初旬紅葉期迄登山可能

尾瀬沼探勝コース

東京ヨリ二泊 (ハ自動車路)

上野 沼田 古仲 戸倉 大清水 三平峠 尾瀬沼 長藏小屋(泊)

長藏小屋 陸路 沼尻 檜枝岐小屋 三條瀧 檜枝岐小屋(泊) 温泉小屋

檜枝岐小屋 温泉小屋 尾瀬原濕原 富士見峠 菖蒲平 富士見峠 戸倉 古仲 沼田 上野

東京ヨリ三泊

上野 沼田 古仲 戸倉 大清水 三平峠 尾瀬沼 長藏小屋(泊)

長藏小屋 陸路 沼尻 燧岳 温泉小屋 三條瀧 檜枝岐小屋(泊) 温泉小屋

檜枝岐小屋 温泉小屋 尾瀬原濕原 山ノ鼻小屋 至佛山 山ノ鼻小屋(泊)

山ノ鼻小屋 鳩待峠 古仲 沼田 上野

老神温泉を中繼として尾瀬ヶ原の探勝こそ見落してはならないコースである、千古の神秘を物語る偉大なる自然の風姿ただく感久しうするのみである。

丸沼温泉から金精峠を越えて日光に至る鍊成コース等山から山へ兩縣下を拔涉し、高山氣分を充分満喫出来るのみならず、特有の高山植物、珍花咲き添ひ今尙學術的研究の餘地が残されてゐるのである。

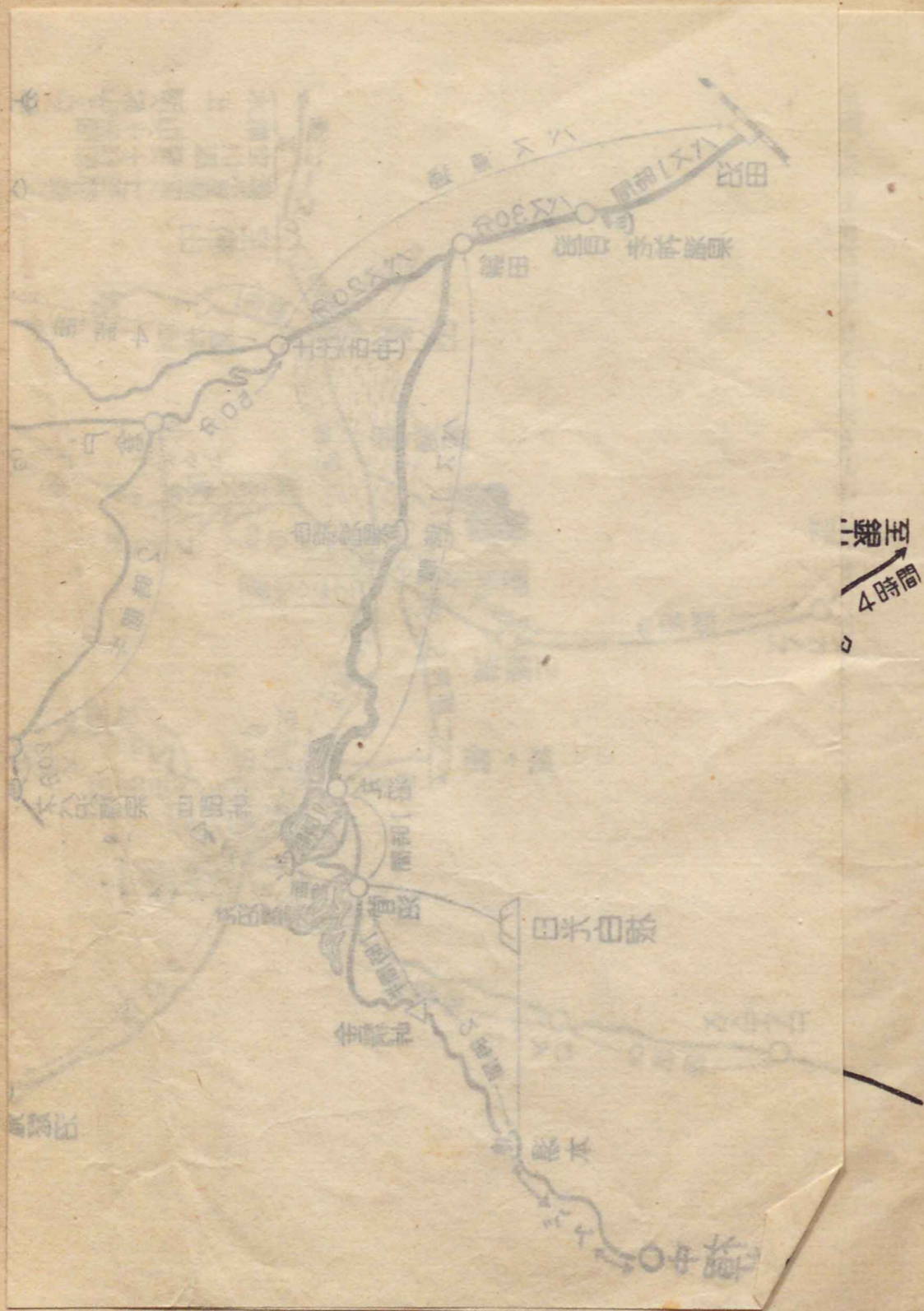
老神温泉の名勝コースは前項に於て記述せし如く、殊に片品溪谷の岩層も此れ又學術上研究の餘地あり、趣味と鍊成コースとして面白きなり。

溪谷の關係か、此の片品川の紅葉は附近の山々に比し大分おそいのも又興深し。

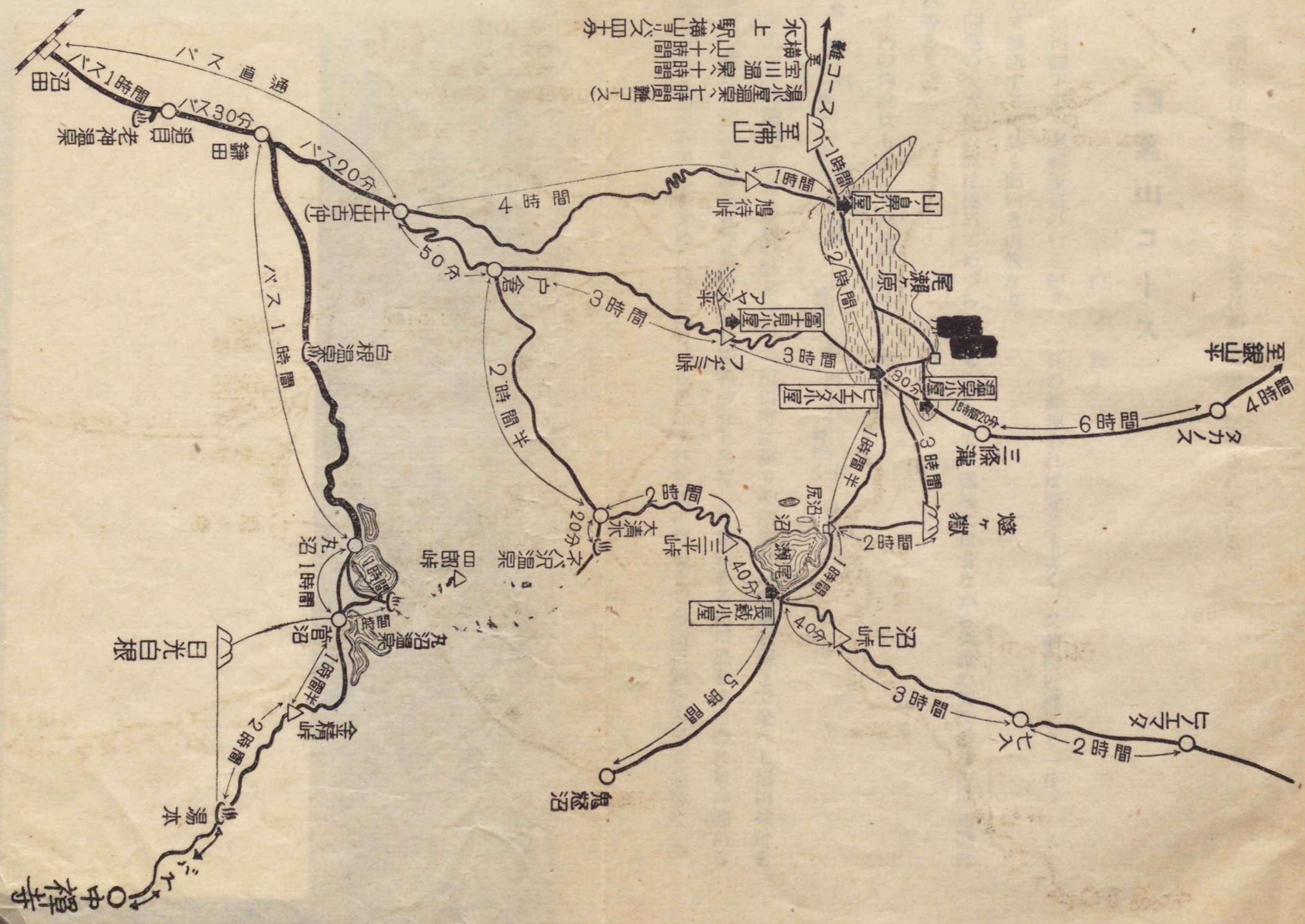
沼田	バス	岩室	六軒	園原	四軒	老神温泉
一時間		一時間半		一時間		

一方沼田驛から老神温泉までバスの便あるも、岩室までバスを利用し溪谷をつぶさに探勝しつゝ行く事が、眞に老神を知るコースである。

尾瀬沼、丸沼等の探勝は日光國立公園地帯にして新潟、會津國境線に伸び其の雄大千古の姿も窺へられ巖嶽、至佛の山容太古の沼に麗姿をうかべ菖蒲平花百態尾瀬唯一のながめと賞すべきである。



尾瀬沼、丸沼等の探勝は日光国立公園地帯にして新潟、會津國境線に伸び其の雄大千古の姿も窺へられ巒嶽、至佛の山容太古の沼に麗姿をうかべ菖蒲平花百態尾瀬唯一のながめと賞すべきである。





尾瀬に於ける數編すでに發表されかなり廣く紹介されてゐる。

### 迦葉山コース

山ノ旅

沼田驛下車、老神温泉の行き歸り、一日の餘地あれば登るもよく、又前橋近郷より一日コースとして參詣するに最も面白き山旅なり。

開運の大天狗の面は極めてめづらしきものにして、靈域には昔ながら傳説の天狗遊びの縦馬隠れ杉等あり。

寺内の傳説はもとより佛法僧に其の名高し。

前橋 汽 車 沼田驛 一時間二十分  
 バス 透門 一時間  
 三 軒 糶 迦葉山 一時間半

山上、胎内潜岩、或は傳説の跡を尋ねて、沼田町に戻り明治維新の廢藩置縣まで榮へし沼田城趾を偲び、更らに波邇夜麻毘賣神を祭る縣社榛名神社を參拜して意義ある山の旅をするのは敬神的から見てもよい旅である、若芽萌へ初む四月から色なす紅葉期に到るまで參詣祈願の人絶ゆる事なし。

近時山に行くのに、乗物のみをたよりにする者多く、無論次から次へと急がしきコースを行く場合は別なるも極部的に往古の街道を歩行む事こそ實益多きものと信ず。  
まづ山路の乗物は老人婦女子に開放して世のハイカーよ大いに歩くべし 矣

### 湯宿温泉

利根郡新治村

上越線後閑驛下車 八軒 バス三十分

國を出る時や 泪で出たが

今じや 越後の風もいや

上州は誰にも住みよいのである、上州にいや／＼ながら来て見たなら、こんどは越後の國がいやになつたと云ふ今尙残る山唄、上越唯一の道路、參勤の北越大名も下に／＼の聲勇ましく通ふた三國々境線である。

赤谷川に並行して走る國道であり、義民茂左衛門を祭る地藏堂、或は江戸で名を揚げし鹽原屋多助の生家等史蹟舊蹟名勝多く、最も印象深い温泉郷である。

西入温泉郷の關門とも云ふべき位置にあり、上越開通直前までは毒消し賣りの越後娘が、手甲脚絆も甲斐／＼しく、駄馬ひく唄聲に日暮れて哀調あり、耳朶に残る昔日の親しみがある所である。

湯の起元は文徳天皇の仁壽年間、藥師如來の夢枕に依つて天與の恵みに浴せしものと云ふ。

泉質及效能

弱鹽類泉 温度六十度

胃腸病、婦人病、神経痛、リウマチス

旅館 六軒

附近の勝地

茂左衛門地藏尊、鹽原多助生家及墓、馬繫松、駒形觀音、赤谷峽谷

### 川古温泉

利根郡新治村

上越線後閑驛下車 十二軒 バス五十分

猿ヶ京ヨリ徒歩四軒



湯島から北へ四軒、赤谷川に添ふて登る山の湯である、緑したる夏の一日又枝渡る秋風は自然の音楽を奏づるとも云ふべき閑寂地で、水上、佛岩コース中繼地に在り山に行くものに親しみ深い湯である。

泉質及效能

鹽類性硫黄泉、腫物、外傷

旅館 一軒

### 湯島温泉

利根郡新治村

上越線後閑驛下車十二軒バス五十分

交通文化必づしも美しとは言ひ難きもので殊に湯島に於て其の感深きを知る、沼田宿から一日の旅、法師の本陣まで「エイホー」と掛聲勇ましく、金紋、先箱、毛槍を立てての大名行列、およそ今日のガソリン臭とは思ひもつかぬ昔の出来事である。

日本武尊命が「新治、筑波を経て幾夜か寝つる」と口づさみしも此の邊りと聞くにつけ、今尙街

道に幾多の綿々としてつきざる情緒が仄に覗へる。

湯島、笹の湯を總稱して猿ヶ京温泉と云ふ、道は七坂七曲り、俳味湧く平和郷で、溢れ出づる温泉は玉泉の如く清らかに、觸感實に氣持よく「肌の美しくなる名湯」言葉を替へて云はんか、美人湯とも云はる。

而も現代風とは云へ素朴なる地にして、赤谷川に沿ふて風趣南画一幅の眺めは倦く事を知らず。

泉質及效能

鹽類泉、胃腸病、婦人病、痔疾、神経痛

旅館 四軒

附近の勝地

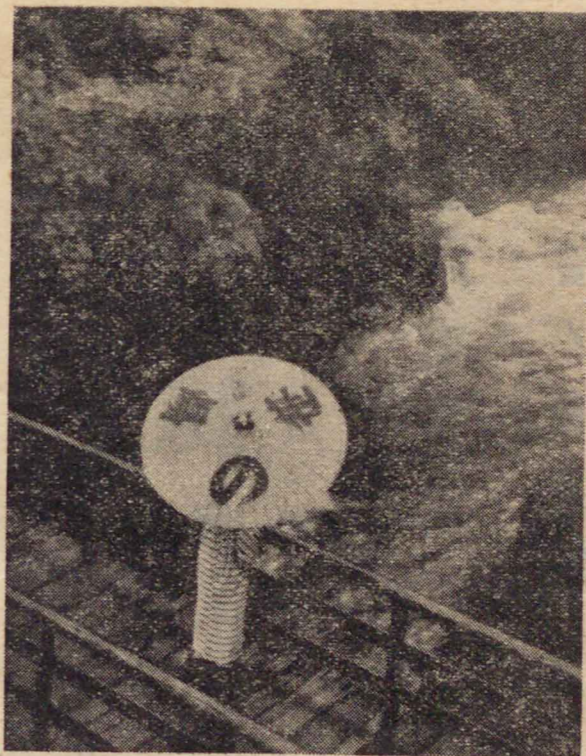
猿ヶ京關所趾、相生橋、佛岩

### 笹ノ湯温泉

猿ヶ京 湯島に同じ

重疊の山、溪流岩に激する溪谷、大自然がそのまま画であり詩であり俳句である。街道から楓樹

の道を幾曲り、見下せば心膽寒き二百五十尺の相生橋を越へて谷迫る處に笹ノ湯温泉あり。  
法師より流るる西川と、大源太山、仙の倉或は萬太郎山に源を發する赤谷川とか合流する處であ



猿ヶ京温泉風景 井野勇太郎撮影

る、四季それぞれのパノラマ天與の妙に感久しうす、風光明眉加ふるに水晶の如き透明泉は満々として湧き山の出で湯にかくも温かく抱擁せらるれば心身又夢の如し。

旅館の對岸赤谷川の流れに近く露天風呂の設備あり、千草をなぶる野風に湯ボトリの頬を打たせつ入るも雅趣一段と味ははるべし。泉質及效能

鹽類泉、婦人病、リウマチス

旅館 一軒

毛の國のここは越路に近くして  
雪残る山の見ゆる春なり 翠子

法師温泉

利根郡新治村

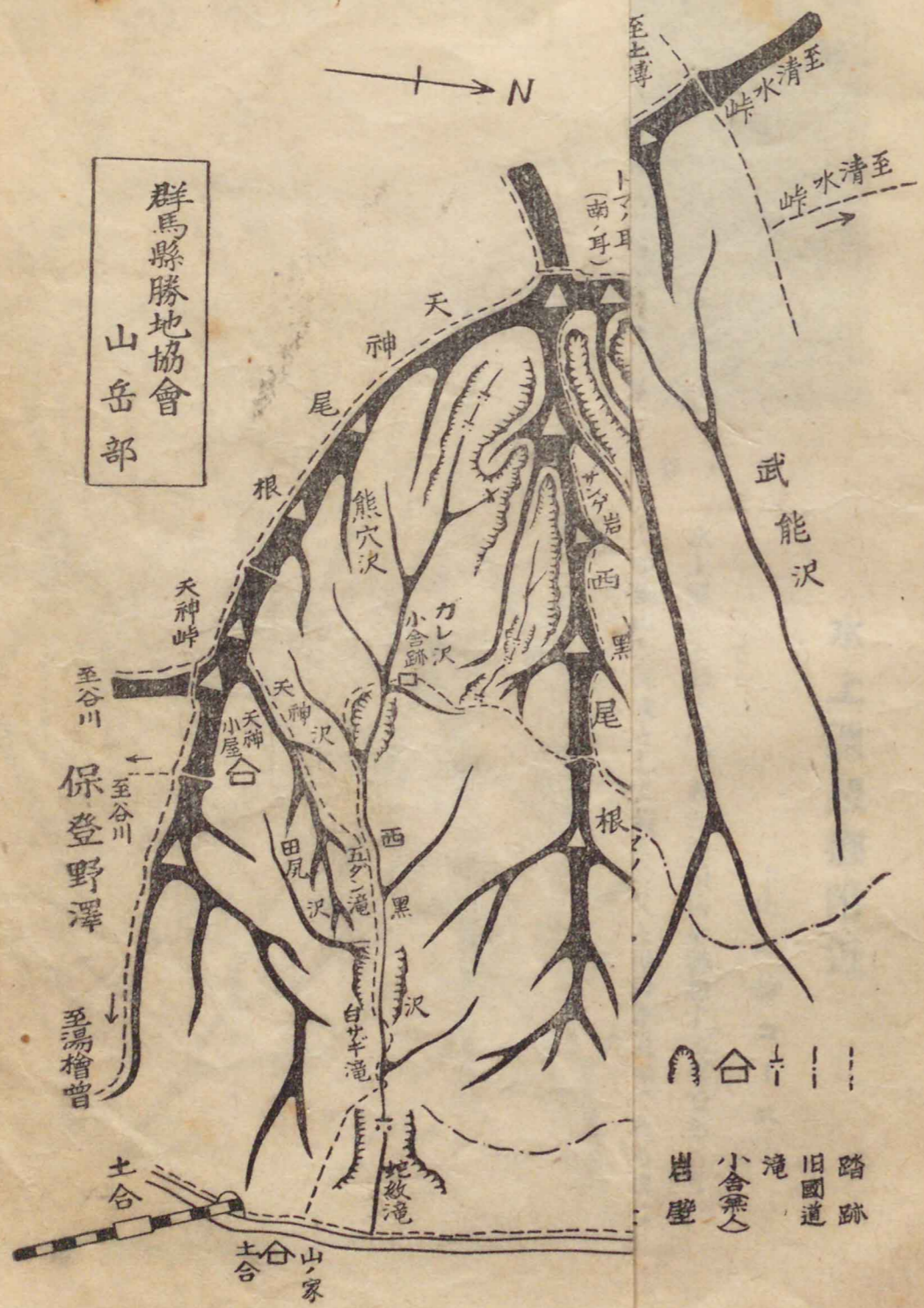
上越線後閑驛下車 二十二軒 バス九十分

上州の名は忘れても三國峠の名は忘れまじ、字句に知る如く上信越三ヶ國の分岐點である、その三國峠に四軒手前が法師温泉である、山、山、山、の風物都人士には想像し得ぬ幽邃境であり、淋しさの言葉はすでに過ぎむしろ森嚴的に山が味はへるのである。

湯宿、猿ヶ京を通ずる國境線の行き詰りで「三國峠の權現様よ」と唄はる發祥地なり。

四面翠巒にかこまるとは文字に在るが四面も八面も山、山、山に圍繞せられ、殊に初夏の一夜この宿に寝ながら佛法僧を聞かんか、たちまち起きて襟を正し、心の藏に泌み入る佛、法、僧、の澄み透る聲、即ち羽化登仙するやとさへ思はるべし。

今の世にラムプの淡き光りに靈鳥を聞く、邪念外脱の一時時、無念無想の一時時を味はうは長壽長命の秘法と云ふも誇大ならざるべし、浴場も自然の岩石をそのまゝ利用し、二間四方もゐる大浴槽の、間からコン／＼と湧く湯に心ろ行くまでしたる時、太古の現想沸然と湧き邪心さらりとすてらる。



温泉の由來は千餘年の昔弘法大師が上州から越後へ巡錫の砌發見せしものと云はれ法師の名も茲に起因せしといふ、越後湯澤に三十二軒ハイキングコースにも良く又赤澤林道越へ四萬温泉に十四軒いづれも理想的コースである。

泉質及效能

鹽類泉、腦病、胃腸病、婦人病、眼病

旅 館 一 軒

附近の勝地

百間瀧、大磐若塚、明治成辰役古戰場、九十九曲り、三國權現瀧

法師 小唄

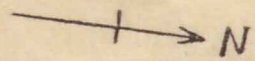
猿ヶ京出て唄路を越へりや

法師湯ざかり 花ざかり

峠越へれば上州の路よ

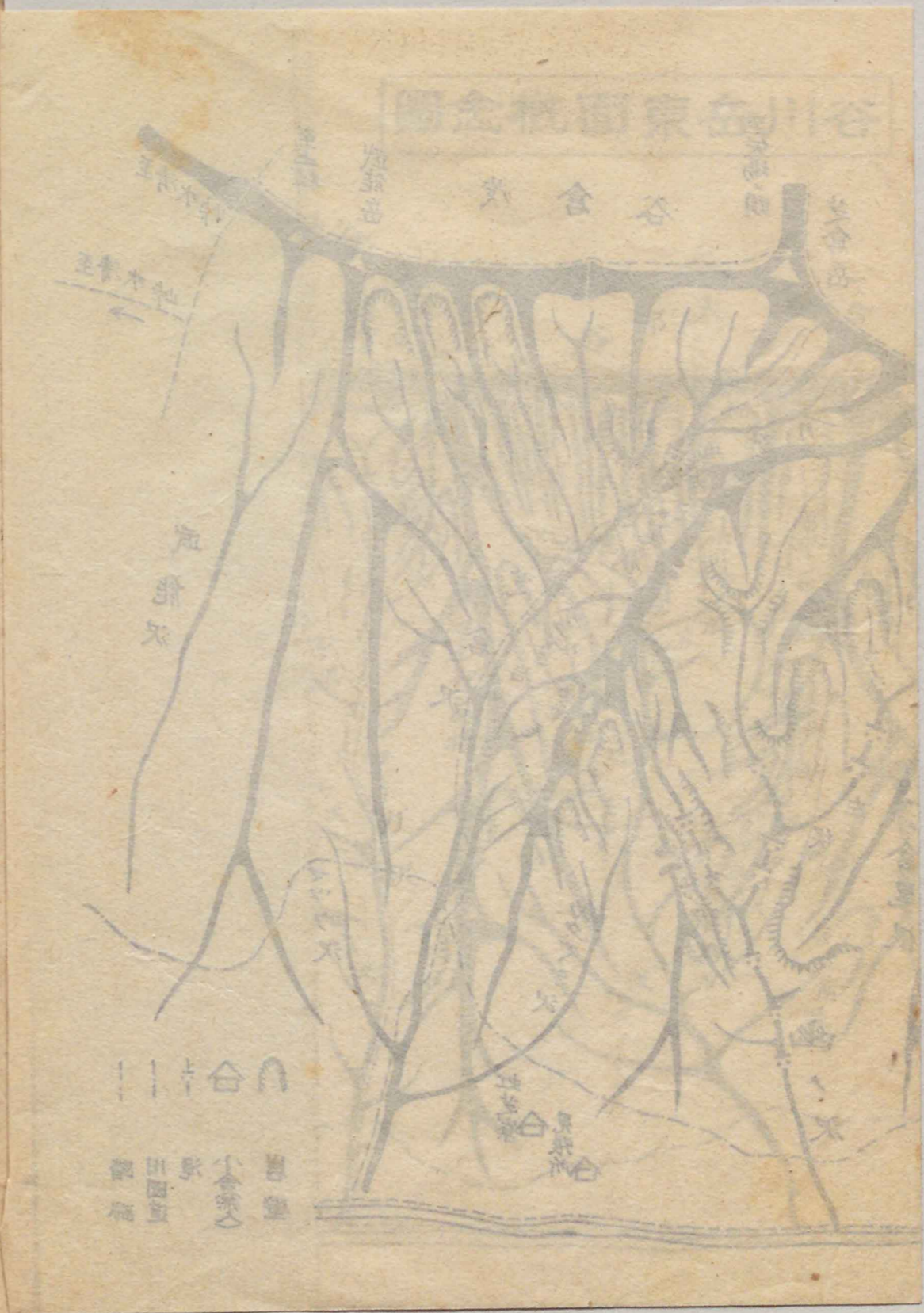
あの灯法師か なつかしや

谷川岳東面概念圖



群馬縣勝地協會  
山岳部





### 水上温泉郷附近

—山の旅コース—

水上温泉と云へば、あの谷川岳を聯想する事であらう、山の旅山の鍊成として若人の又と得難き道場である事は今更言を俟たぬのである、群馬にありて此の名山ありと誇稱す。

眞に山を知らんとする者、山と云ふ山を知りつくせる修鍊者たる者、いづれにも尙研究の餘地を藏してゐるのもこの山である。

又あまりにも惜しき山の哀話も、其の跡を絶たづ不覺とは云へ残念の山ではある、而しすべてに細心の注意大膽の氣構へ、そして充分の用意があるなら恐らく此の悲



雪の谷川岳 吉田元撮影

話も昔語りとなるであらう。

一日にして雄峰谷川岳を踏破も出来二日、三日の幽谷拔涉の強歩も出来得るなぞ神秘の山である

とも云へる、其の剛壯、其の快味こそ若人の血を湧かすに足る。

後表に示せる通り、ハイキングコース或は強歩の山旅コース、温泉から山へ山から温泉へ行く路  
自づから風光明眉にして自然の風貌相迫り、相退き、特にコースを指示するの要なきなり、後表コ  
ース例は其の一部に過ぎざる事を御諒知願ひ度いのである。

### 日歸登山コース

【徒歩一軒一時間程度】

#### 一、健脚者コース

谷川岳 (土合→〇、三〇 西黒澤→四、三〇 頂上→二、〇〇 天神峠→〇、三〇 保土ノ澤→一、三〇 谷川温泉)

蓬 峠 (土合→二、三〇 マチガ澤→〇、三〇 一ノ倉澤→一、〇〇 芝倉澤→二、三〇 蓬峠→四、〇〇 土樽驛)

谷川岳 (湯檜曾→一、三〇 今倉山→一、〇〇 高倉山→〇、三〇 天神峠→三、〇〇 谷川岳→二、〇〇 西黒澤→一、〇〇 土合)

#### 二、一般コース

天神峠 (土合→〇、四〇 西黒澤→〇、一〇 田尻尾根→二、〇〇 天神峠→一、三〇 谷川温泉)

高倉山 (湯檜曾→二、三〇 高倉山→〇、三〇 天神峠→〇、三〇 田尻尾根→一、三〇 土合)

今倉山 (湯檜曾→二、三〇 今倉山→一、三〇 谷川第一スキー場→〇、三〇 谷川温泉)

#### 舊國道 廻遊

(土合→〇、一〇 西黒澤→〇、三〇 舊國道→一、三〇 舊國道→〇、四〇 舊國道→一、〇〇 下道→一、三〇 土合)

蓬 峠 (土合→二、〇〇 武能澤→一、〇〇 白樺小屋跡→一、〇〇 蓬峠→二、〇〇 武能澤→一、三〇 土合)

佛 岩 (湯原→〇、三〇 阿能川→二、〇〇 佛岩頂上→二、〇〇 川古温泉→二、〇〇 相俣→〇、三〇 自動車後閑驛)

### 一泊登山コース

#### 一、健脚者コース

谷川岳中  
ゴ1尾根 (土合→〇、三〇 西黒澤→四、三〇 頂上→〇、三〇 中ゴ1尾根→一、三〇 二俣→一、三〇 谷川温泉)

谷川岳  
國境徒走 (土合→〇、三〇 西黒澤→四、三〇 谷川岳→一、三〇 一ノ倉岳→〇、三〇 茂倉岳→二、〇〇 武能岳→一、〇〇 蓬峠  
→三、三〇 土合)

朝日岳 (土合→三、〇〇 白毛山→一、〇〇 笠ヶ岳→二、〇〇 朝日岳→二、〇〇 清水峠→三、〇〇 武能澤→二、〇〇 土合)

清水峠 (土合→二、〇〇 武能澤→一、〇〇 白樺小屋跡→二、〇〇 清水峠→二、〇〇 蓬峠→一、〇〇 白樺小屋跡→三、〇〇 土合)

#### 二、一般コース

谷川岳 (土合→〇、三〇 西黒澤→四、三〇 頂上→二、〇〇 天神峠→四、三〇 保土ノ澤→三、〇〇 谷川温泉)

蓬峠 (土合↓三、〇〇武能澤↓一、〇〇白樺小屋跡↓一、〇〇蓬峠↓四、〇〇土樽驛)  
 高倉山岳 (湯輪會↓一、三〇今倉山↓一、〇〇高倉山↓〇、三〇天神峠↓三、〇〇谷川岳↓二、〇〇西黒澤↓一、〇〇土合)



影撮榮武橋高 岳川谷ノ健剛

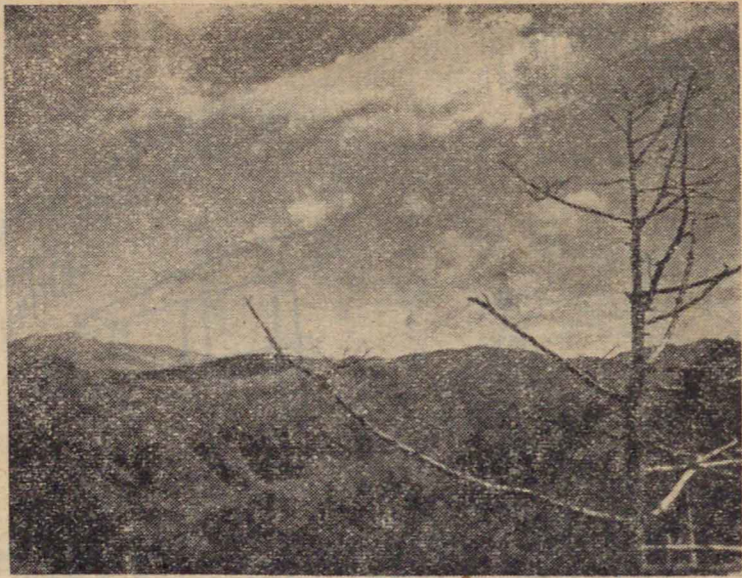
特に谷川岳登山に關しては周到の注意、豫備智識を得て行ふべきで、殊に悪天候を無視し、或は不用意の仕度にて登山する事は絶対に慎むべきである、表日本と裏日本の急激なる氣象の變化あるが爲、麓では豫想し得ぬ急變が時折山溪に迫るのである。

道なき路を突破し、岩壁を征服するの快、これこそ山を愛し、山に旅せんの主眼とは云へ、底知れぬ溪の深さ、凄さ、又踏み迷ふ奈落の溪に一步步の自由さへゆるさぬ濃霧等忘れてはならぬ不斷の用意が肝要である。

蟬螂を打つ牛刀も夏の山 白鳥

### 佛岩コース

温泉と山を繋ぐ理想コースにして、水上と猿ヶ京中間



影撮郎三良井新 々山の境國

の山路にして、眞に山路を歩くのは十二、三軒にして次の温泉に達す、若芽吹く初夏、炎熱の夏、涼しき林道を中心行くばかり元氣に行く事こそ醫藥に勝る效あるなり。

### 赤澤越へコース

四萬温泉から行くも、或は法師温泉から行くもいづれにてもよく、順路としては下りコース法師から行く事が比較的樂である。

深山幽谷の感、泌みく山奥ゆかしさを體得し、眞に登山氣分を味ふべきコースなり。

温泉や山を語らんとするもの、一度は元氣に行くべきである。

### 治武・三國越へコース

上、信、越、即三國峠、いやしくも上野の山を知らんと欲する者、歩を運ばざるなし。

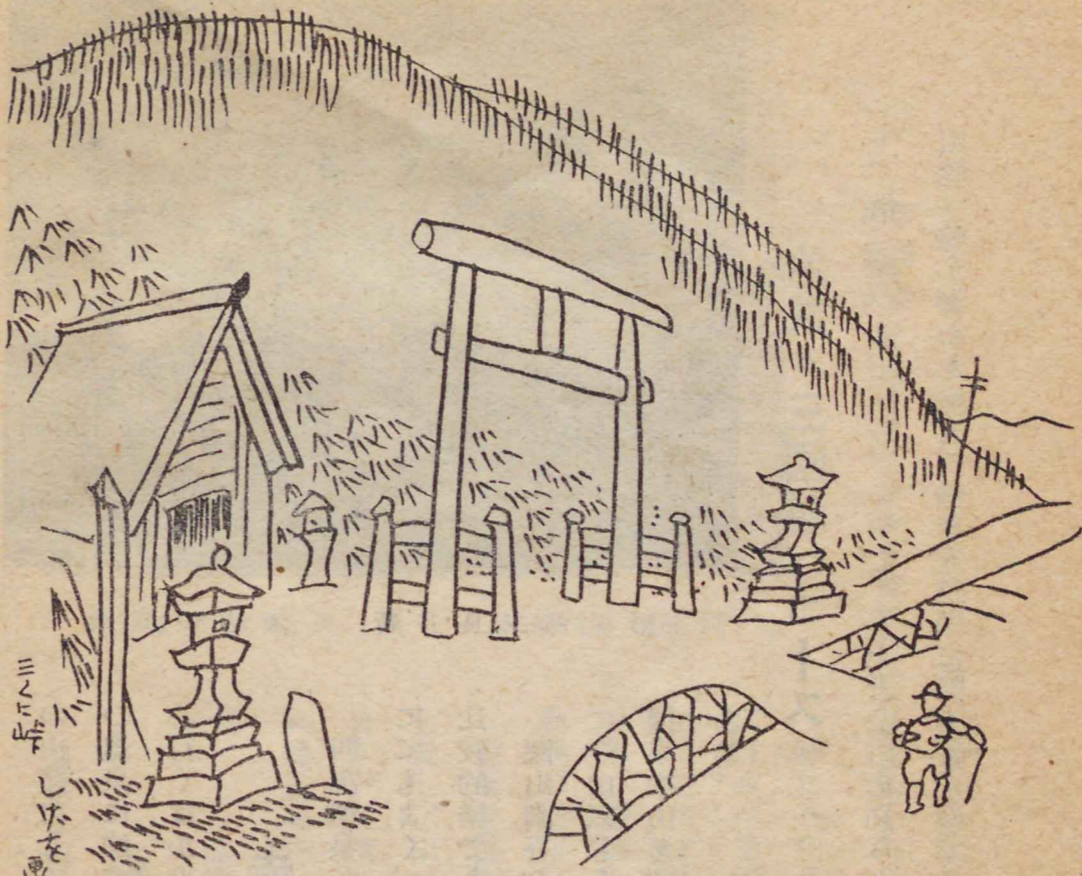
唄聲一聲かよわき婦人の囁きも三國に鳴り響くのである、昔參勤の行列が下にくと籠の道中を

せし越路より江戸への一本路で歴史の變遷を知らざる者も、此の峠に到れば必然と心打たるべし、文化の銚は進みて山を拓き自動車も並列して走る道路となりつゝあるのも、又遠き昔しを偲びてなつかし。

### 三國越へコース

三國峠から、健脚をのばして越後湯澤に至るコース、又壯者渴望の山路である、修鍊よろしきを得るなら、山スキーコースとしても、雄大なる曲線路である。

初夏から秋へかけて、一般コースとしても佳く、リュウクを脊に軽き足どり、山は青葉は、健康を好む人々、を無限の慈悲を以つて把攤せんとして居るのである、行くよ山に行こうよ元氣で。



### 奥利根ノ山々

山溪相對し、押し迫る山、山、山、大倉峽の絶景は水上に近く、藤原高原、寶川は健脚を以つて行くこそ面白いコースなり。

山の旅か、湯の旅か、山もここまで来ると行くも歸りも足まかせいやが上にも健康コースとせざるを得ないのである、寝ても健康、起きても健康、土地の風物それ自體が健康である事絶對である。一日、二日、の鍊成行樂の天恵地奥利根の眺めは行つて見て始めて吾が意を得たりと云ふなり、幸ひに、近時交通、山と云へど意外に佳く、一家團樂のコースとして行けるのも何よりである。

### 八鹽鑛泉

多野郡 鬼石町	
高崎線新町驛下車	十二軒バス四十分
同 本庄驛下車	二十軒 六十分
八高線藤岡驛下車	八軒 三十分
同 兒玉驛下車	十軒 三十五分

上武國境、神流川に浴ふて西に遡れば、翠巒押し迫るあたり、玉泉いよいよ澄む、靜閑なる八鹽



鑛泉は來湯者を招いてゐる。

せらぐ神流の清流は、足下に白雲と化し仰げば御獄、御荷鉢、秩父の雄姿凡然と並び更に頭べを東北に廻せば、遠き彼方に赤城、榛名さては日光の連山等或は靄の薄衣を纏ひ或は墨染の衣を着たるが如く見へ、正に南畫、一幅も斯くやと偲はる。

俗調に遠く離れて静かなる溪間又得難く、ハイキングと療養相俟つ理想郷である。

泉質及効能

食鹽ラヂウム炭酸泉、胃腸病、婦人病等

旅館 二軒

附近の勝地

金鑛神社(國寶、多寶塔)元三大師、塙保己一の生家、三波石溪谷

### 碓氷鑛泉郷

碓氷郡

赤坂鑛泉.....横川驛より南へ八軒

中里鑛泉.....旅館 一軒  
.....安中驛より西へ六軒

旅館 一軒

吉ヶ谷湯澤鑛泉.....安中驛より四軒

旅館 二軒

八咫鑛泉.....碓氷驛より一軒

旅館 一軒

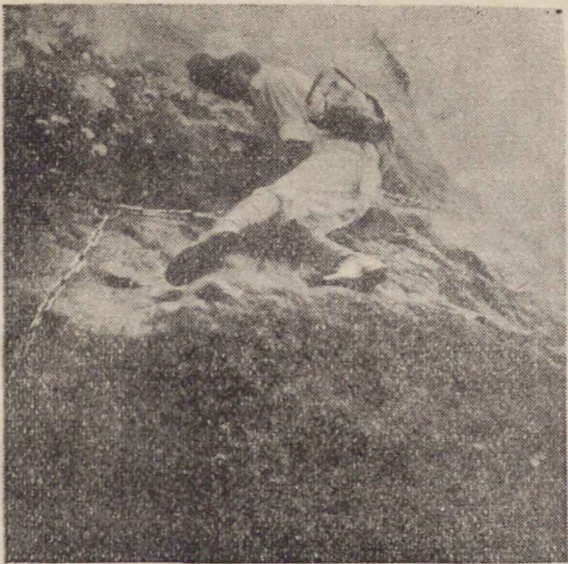
### 碓氷郡鑛泉

碓氷郡碓氷部町

上野三山、妙義の奇峰に近く、碓氷驛附近に點在す。

湯の歴史は天明の淺間大爆發の際、噴出し始めしものと稱さる、湯の效界絶大であると云はれ、四六時中入浴者絶ゆることなく、殊に冬期風邪引きの者も、入浴して風邪熱を上げ爽快となるなど一寸變つた感じがあるのである。

原泉より湧出する氣泡は實に物凄く、大自然の不可思議は只々訪ふ人感銘す。  
 何と云つても、朝鮮の金剛山と並び稱さるゝ妙義山を背景に位する磯部鑛泉は地理的に見ても、  
 ハイキング一日清遊、或は登山疲れを一夜楽しむ等にも適當の所に在り。  
 春の一日「蜃氣樓」の奇現象あり、科學する旅人を極度によろこばすなど、磯部ならではと誇張  
 するも或は當然とも云へよう。



影撮裕眞村田 這横ノ蟹山義妙

碓氷川に添ふて點在する旅宿は、群馬特有の山の湯とは  
 少し其の趣を變へてはゐるが、田園にかこまれし閑靜地  
 である。

堀井に氣泡と共に湧出する鑛泉は、浴用、飲用共に效  
 あり、又獨特の炭酸分に依り「煎餅」に利用し「磯部鑛  
 泉」と「磯部せんべい」は名物として知らる。

磯部鑛泉は時流的風潮絃歌に賑ふ型の湯にあらず、あ  
 くまでも名湯を信賴し、治療本位の質實型にして平凡の  
 中にも得難き碓氷の名泉である。

泉質及效能

食鹽アルカリ性炭酸泉、胃腸病、神経痛、リウマチス、婦人病

旅 館 十 軒

附近の勝地

妙義山、貫前神社、城山公園、原市安中杉並木、佐々木盛綱墓、大野九郎兵衛墓

磯部小唄

磯部湯の町 情の町よ

招くおぼこの〜片えくぼ

しんとんとろりこ湯の煙り

當の口紅 磯部の紅葉

誰を待つやら〜薄化粧

しんとんとろりこ湯の煙り

磯部音頭

松川二郎作詞

妙義山には三峰ござる

左金鶏 中金洞

ハアコラサツサイ左金鶏 中金洞

右に高いのがエイソラソレワイ

白雲山よ

―磯部新民謠―

主に上げましょ おこしよいか

かるい湯の香よ 戀し磯部の思ひ出よ

### 霧積温泉

―碓氷郡坂本町―

信越線横川驛下車 坂本町迄バス十五分(三軒)  
それより徒歩三時間(十軒)  
山越えコース  
信越線輕井澤―碓氷峠町―留夫山―鼻曲山―霧  
積温泉(徒歩約五時間半)(十六軒)

碓氷峠から北約六軒、鼻曲山と劍の峰とが對峙する山峽、碓氷川の源に沿ふて、仄かに湯煙を上げてゐる。四面何れも深山に圍まれて、閑寂そのもの幽邃な温泉である。

峽に可成り深い霧が多くて、この名があると言ふが、夏の涼しさは又格別で夏の日盛りでも七十五度を越えないといふから、避暑地としては好適である。

此の湯の特徴は長湯であつて、一回の入浴時間が數時間に亘る者があり、甚だしきは七日間を通じて食事も睡眠も悠々と入湯しつづけたといふ珍らしいレコードが傳へられてゐる位である。

此の附近一帯の峽を埋めて夥たしい楓樹が生ひ茂り、中には數百年を経たと思はるる周圍七、八尺もある老樹があつて、秋の紅葉季の美觀は、碓氷峠のそれも遠く及ばぬとさへ稱せられてゐる。

輕井澤から熊野權現に詣で、此の温泉に一泊して碓氷の關趾を探り、金綱の瀧を賞でて横川に出る二十四軒のハイコースは健康街道の名にふさわしきコースである。

泉質及效能

石膏性苦味泉

腦病、神經衰弱、皮膚病、リウマチス

附近の勝地

角落山、留天山、金洞瀧、天狗岩、忍ぶの瀧

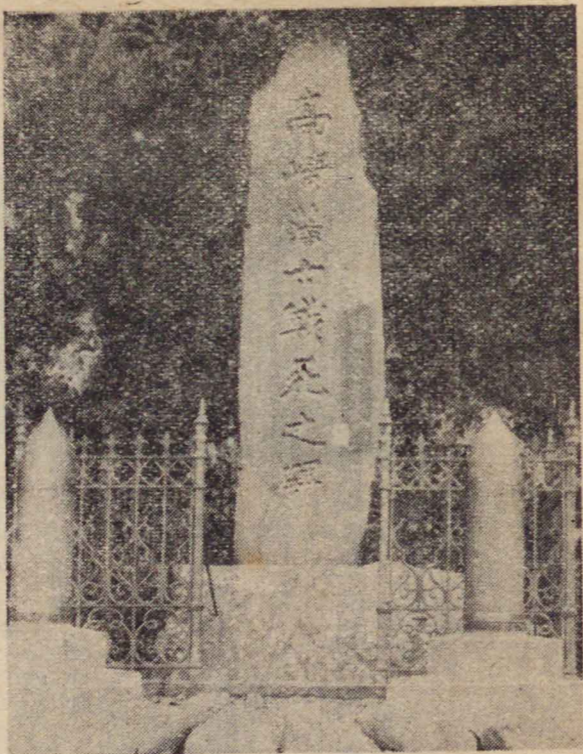
### 磯部・輕井澤附近

―山の旅コース―

高崎	上信四〇分	一ノ宮	七五〇米	貫前神社	一、三軒	宇田観音	三軒	新田山	四軒	磯部	一、五軒
			一五分		二〇分		四〇分		一時間		二五分
松岸寺	一軒	首塚	一軒	原市	二、五軒	安中町	八〇〇米	安中城址	汽車五分	高崎	
	一五分		一五分		四〇分		一〇〇分				

天下三奇勝の一つ妙義山に近く有名なる國幣中社貫前神社あり、いづれから見ても一日鍊成コースとしては、思ひの儘なる路が得らるのである。妙義山の奇勝を踏破するのみに於ても一日では一寸無理であるが、一泊して山から神社へと順拜すれば心身共に洗練され無明の暗も又明日の希望に輝くであらう。

考古學的遺物殊に磯部附近には多く、城趾あり、塚あり又原市には天然記念物杉並木等ありて往古を偲ばる、史蹟巡りとして探究するにも數多き材料に恵まれ、蝶舞ふ長閑な一日、花笑ふ春の一



下 仁田史蹟 大井田行雄撮影

と時を足にまかせて、史杖を曳んか先人文化の跡歴然として、まみへ、詩情豊かに得るところ多かるべし。

磯部から汽車にて横川、或は輕井澤に下車して附近を探らんか雄大の山、眺望の峠、一夫大パノラマの如く展け剛健の山路、次から次へと相迫り、相展く。

熊野權現から、霧積温泉、更に熊の平に出で唄にも名ある碓氷峠の一大展望曲折路を横

川驛迄下らんか、其の剛壯明眉の風致にしばしは身の疲れも忘れてしまふであらう。

輕井澤	四	軒	熊野神社	四、一	軒	熊野平	七、六軒	碓氷關趾	五〇〇米	横川驛
	一時間	一〇分		一時間	二〇分		二時間		一〇分	

古書を緋けば碓日坂、宇須比坂、笛吹峠とあり情緒纏綿として盡きず、眼下に展く群峰に雲湧き俳味湧然たるべし。

輕井澤から、六里ヶ原、或は鬼押出し等、草津新鹿澤温泉に到るコース、いづれも練成好適の山路

にして其の間草津電車を利用すれば一家行樂のハイキングコースとしても推奨に價する。

休日利用のハイキングに、剛健強歩の行軍に、自由の路を撰定し得られる理想境とも云へる。

大自然の資源は物のみにあらず、この天恵地を活用

することは五人の責任にして要は身を以てこの山野を

拔渉するにあることを忘れてはならぬ。

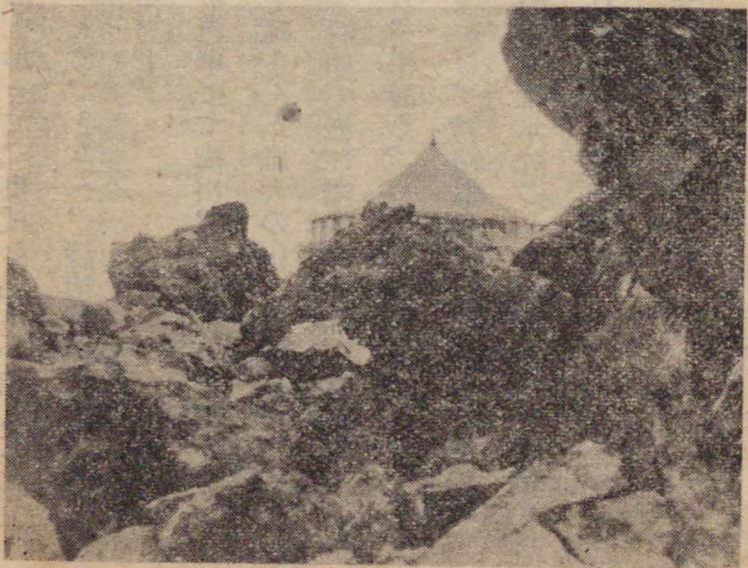
輕井澤 電車一時間 國境平 八 糶 鬼押出  
一時間五〇分

六 糶 北輕井澤 電車一時間半 草津町  
一時間一〇分

杖を反轉して再び妙義山附近に移せば、妙義山裏伸  
木澤コースあり、起伏重疊の文字通りの景觀美又面目  
新たなるあり。

横川驛から入山を輕て赤坂鑛泉に通づる、高岩コー  
スも又捨て難き醍醐味に接し得るなり。

淺間の燦岩 登丸右吉太撮影



## 神津牧場

山旅のコース

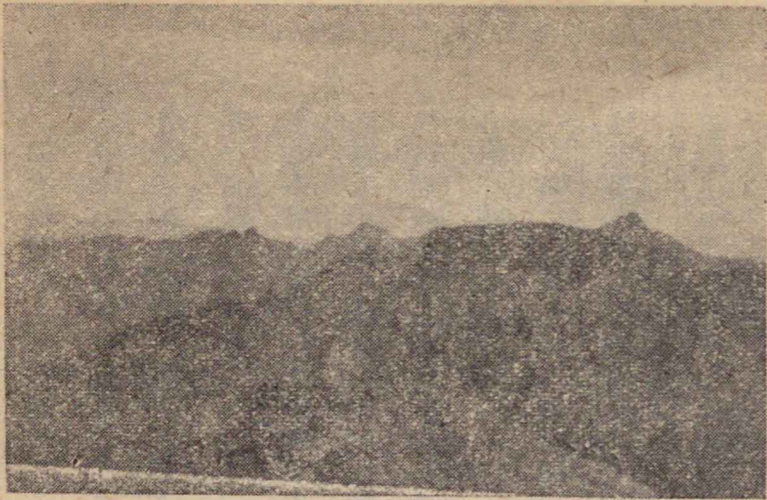
神津牧場は上州路、湯の旅としてはコース中に名湯は  
ないが、山の旅としては最もすぐれて居り特筆すべき好  
條件を備へて居るのである。

### 一、コース

高崎 電車一時間 下仁田 バス三〇分 市野萱 五 糶 新津  
牧場 四 糶 八風山 二 糶 上發地 十 糶 輕井澤  
一時間半 三〇分 二時間

### 二、コース

高崎 電車一時間 下仁田 バス五〇分 砥澤 八 糶 星尾峠  
一 糶 荒船山 四 糶 小屋場 一 糶 白井平 七 糶  
三〇分 一時間 一五分 二時間半  
神津牧場(二泊) 四 糶 八風山 二 糶 上發地 十 糶  
輕井澤 一時間半 三〇分 二時間



荒船山 大石林三郎撮影

神津牧場より輕井澤に至るコースは、眞に山の旅たるの味を知るに足る、殊に荒船山の眺望或は山姿の奇等、其の風姿の變化せるは他に類例なきところ、是非一度は行くべきであらう、何と云つても輕井澤に路をとる事が面白いコースである。

婦人子供の場合は乗物の便もあり一日旅練成に牧場の自然味に接して思ふ存手足を伸さんか陽光と共に心氣一轉すべし。

牧場に一泊して八風山越へ經井澤へ出るコースは剛快味豊かにして興あるべし。

## 黒瀧山

—山の旅コース—

高崎驛 電車一時間 下仁田 バス二〇分 小澤橋 登り七軒 黒瀧山不動寺 下り五軒 六車 バス三五分  
二時間

下仁田 電車一時間 高崎驛

温泉と關係はないが、山の旅としてはよいコースである無論史蹟としても最適にして、神津牧場荒船山に近し。

尾澤の「木の葉石」は學術的價値あり、落ち込む木の葉が重炭酸カルシウム浴水に化合して僅か二週間にして「木の葉石」となると云はれ、又石に附着すれば「尾澤の鹽石」と稱され自然化學の不思議さに感久しふする。

天壺洞、天平嶺、渡驢橋、三十三觀音、九十九谷と呼ばれる靈境ありて一日ハイキングの旅に有意義のコースなり。

趣味と科學そして敬神、群馬の景勝地は次から次へと續き「アルケ」あるけと大呼す。

## 上野三碑

—史蹟の旅—

關東に於ける古代史上最も古き年代を刻しあり、特に記述せり。

神津牧場 小林清一撮影



高崎 電車一〇分 根古屋驛 八〇〇米 金井澤 三、五軒 山上碑 七〇〇米 山名八幡宮 三〇〇米 御野立所 五〇分

二、五軒 七輿山古墳(一) 吉井行バス(二) 一、八軒 多胡碑 二軒 吉井驛 電車二一分 高崎驛 三〇分

金井澤 昭利十七年より壹千貳百拾六年前のもの

山上碑 同 上 壹千貳百六十一年前のもの

多胡碑 同 上 壹千貳百參拾壹年前のもの

以上三碑共いづれも千二百數十年前の古碑にして、史蹟指定は勿論、群馬最古の名碑たり。

殊に特筆すべきは當時之を建立せる趣旨が祖先追慕祖尊の美風に依るものにして金井澤の碑には特に明記されてゐるのである。

文字を石に刻して後世に傳へ千有餘年後の今日親しき鑿の跡に接せば外國禮讚謳歌して大義を踏みあやまるか如き不快事はなかるべし、殊に多胡碑には上毛統治即ち政治的文化も偲ばれ實に意義深きものがあるのである。

忠、孝の本義は國體を明かにし思想を堅固にするは無論の事にして健康の身に忠孝の心ありて國土安泰、歴史は浮薄を誠してゐる事を見のかしてはならぬ。

### 吾妻温泉郷に就て

この稿を編むに當り時恰かも山の資源開發上愈々吾妻線着工昭和十七年より三ヶ年計畫鐵道路竣工の發表あり遂に文化の戰車はあの重疊の山へ喰入る事となつたのである。

奥利根を馳驅する上越線と相並び群馬二大風光路線として長途の旅をねぎらふ事と思ふ、ともあれあまりにも交通に恵まれざるこの地に鐵路の惠與は絶大で資源に文化に有形無形の利得は莫大で吾妻のみの問題でなく社會に貢獻する處多かるべし。

無論今すぐ停車場の位置等知る術もなく従つて温泉や山の旅の始發驛不明につき從來の自動車驛を其の儘記述して參考とした、而し山と溪の吾妻故大體從來の自動車發着驛附近に停車場設置さるものと想像する尙時間の短縮は非常のものにて東京上野方面より一日旅として樂にコースの選定も出來總じて吾妻が帝都に大分接近した事になるのである。

大量の輸送力を(從來の自動車に比し)有效適切に利用し以て健康を祝福し吾妻路線に對し三ヶ年後を大いに活目し期待しつゝこの稿を編む。

# 澤渡温泉

吾妻郡澤田村

上越線澁川驛下車、バス一時間半、三十二軒

澤渡温泉は澁川から中之條町を経て四萬街道を半ばにして分岐して達す名湯草津に通ずる暮坂峠の麓に在り。

有坂、秋葉の翠巒に圍まれ蛇野の清流は石を叩き上州路の山の深さをしみじみ感じる眞に山のいで湯である。

人家少なく高潔なる地にして靜かなる事、林の如しとは而りと云へる。

草津の合せ湯として名あり、草津にて身體糜爛を起して歩行するにも足腰摺れて悩みしも馬の背に身を托してこの湯に入れば、數日にして實に氣持よく治療すると稱さる、昔は馬の鈴に暮坂峠は一幅の南畫にも似たる風情ありしをうかゞはれ眞に病氣靜養温泉として知らる。

発見は行基菩薩が養老五年元正朝の頃、此の地に曳錫して草津に次ぐ名湯として開きしと云はれ其の後建久四年源右府頼朝が淺間に狩りをせし折、この地を通り近侍梶原景季の詠みし歌として今尙殘る一首あり。

梓弓日も暮れ坂につきぬれば

有笠山にさしていそがん

説明的歌詞ではあり當時の流れにいさゝかそぐわぬ節ありと思はるゝも古歌として存在す。

維新前高野長英が吾妻に來遊せしは事實にして募吏の追窮をこの湯に韜晦し、又佐久間象山が來湯せしとも云はる。

浴場は行樂、部落、療養と三分しあり稍微温とはいへ實に美しくしき湯である、湯に近く澤渡神社ありて萬葉の古歌をきざみし碑あり。

澤渡の手古にいゆきあい赤駒の

あがきを早め言とはす來ぬ

泉質 鹽類泉

效能 皮膚病、神經諸病、胃腸、痔疾

旅館 三軒

附近の勝地

大岩不動尊、澤渡神社、ひぢり峰、五輪ヶ澤、有笠山の紅葉



# 四萬温泉

吾妻郡澤田村  
上越線澁川驛下車  
四萬行群馬自動車バス一時間半 四十料

深山幽谷、文字通り山溪迫る温泉郷にして、湯量豊富真に療養地として知らる。

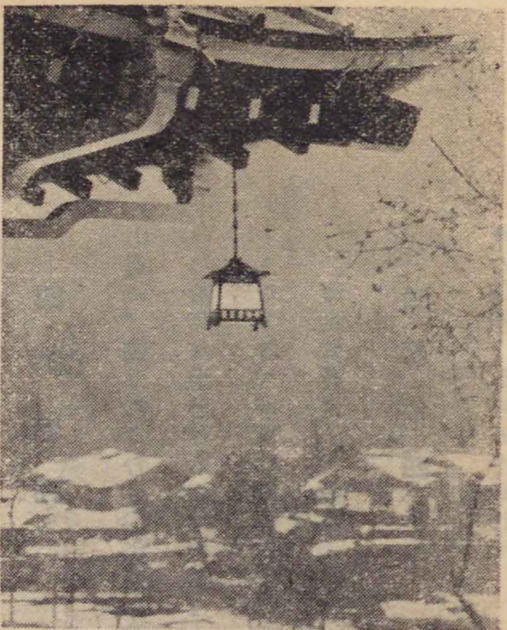
科學の陣營進むと云ふも大自然には尙遠きを感じず、山に一步入らんか、老鶯啼きそいて樹々に反轉し都の夏とおよそ縁遠きを誰れしもが感ずるなり。

四萬温泉とは、文化村、山口、新湯、日向見等總稱せるものにして、道に沿ふて一軒餘、四万川の邊りに旅宿點在す、河鹿啼く玉泉、溪流、秋ともれなば兩岸相對して錦のとほりを張りしめて反映し、日光の大谷川、箒川の清流鹽原の絶景に勝るとも劣らずと稱さる。

岩叩く、飛泉聲あり、啼く河鹿

白鳥

大地に湧く詩情、目に入る風物は其儘一幅の南画ともなり、訪ふ人感久しうす、而かも倦く迄療養本位質實的の温泉にして、紅燈絃歌の音なく、従つて齒の浮くような唄聲更らに聴こへず、桃源の夢心ろ行くばかり楽しみ得ると云ふ静閑の温泉なり。



四萬温泉スケッチ 棚橋勇吉撮影

國寶の 伽藍尊し 蕎麥の花

不折

近代化せる旅館は三千五百有餘人の客を抱擁するの設備ありて堂々たる建物、溪間に相對す。蒸風呂、砂風呂等ありて好みに應じ、溢れ流るゝ温泉は極めて豊富なり、又長期療養に便ならしむる爲、自炊客を招き、室屋代實費にて至極經濟に入浴し得る等、名實共に世に知らる。

上毛三名湯とも稱され、四六時中客の絶へざるはなしと言はるゝ名泉地なり

夏に物憂き蚊帳など、四方には不用の長物にして、盛夏の眞晝も八十度を越へる事なしと云はる、健康鍊成として冬山スキーも手近に出来又寒湯治にも山峽なるが故に名物空つ風も知らず居らると言ふ。

そそり立つ摩耶、小倉の諸峰が、風に對して几然と聳へ空つ風も四萬へは及ばぬと

雲と共に 湯殿を抜ける 蜜かな 露伴

湯の傳説はかなり古く 天文四年創立の國寶日向見藥師あるを見ても明かなり。

泉質及効能

無色澄明弱食鹽泉、溫度五十四—八十五度

胃腸病、リウマチス、神経痛、婦人病

附近の勝地

澁砥泉、摩耶の瀧、嘉滿ヶ淵、水晶山、高野山、神仙の瀧、小泉の瀧、偕樂園  
楓仙峽、小倉の瀧、大泉の瀧、日向見薬師

— 四 萬 民 謠 —

山奥の、煙る湯けむり、谷間の流れ

四萬は湯どころ、ほのくくと

すんなりと、四萬の娘は、湯の香にそだち

浮世知らずの、無垢の花

— 四 萬 の 四 季 —

峰の朝霧、からりと晴れて

蕙る湯の香にほのぼのと

石楠花の、花が咲いたよ四萬の春

戀し灯、谷間にゆれて

とろり假寝も、湯槽の中

想い出の四萬の湯が忘らりよか

峠はるかに、三國へ続く

唄で行かうか、紅葉狩り

鹿の聲、聞くもわびしや四萬の秋

健康コース

四萬 二 軒 日向見薬師 十 二 軒 法師温泉 四 軒 三國々境  
四十分 三時間五十分 一時間四十分

夏季練成健歩コースとして、赤澤山越へと稱する實に愉快なる山溪コースあり。

四萬から法師へ行くも、又法師から四萬へ行くも自由にして、途中山路の風雅を賞味しつつ危険ならざるも、山を知る者山を知らずと云ふ如く、あまり自我の勇に走らざるを誠む。

吾妻妻より利根郡西入りに通ずる唯一の山通にして、山あるきの氣分に充分満契出来而かもさまで難コースでも無く、婦人にも行けるあたり先づ以て山あるき理想コースでもあり温泉巡りとして推奨す。

又強コースなるも花敷温泉に二十八軒にて達し得べく、それより草津經由温泉巡りも面白きなり。

### 大塚温泉

吾妻郡名久田村

上越線澁川驛下車 中之條ヨリ五軒

澁川驛より吾妻川に沿ふて溪谷美の街道をバスに揺られて一時間、四萬、草津方面行き分岐點中之條町にて下車、名久田川を遡行五軒、質朴簡素、それこそ眞の療養温泉大塚に達す、昔から皮膚病に特效ありとして知られ殊に子供の「クサ」「吹出物」等に獨特の効果あり山に見る素朴其の儘の湯である。

泉質及效能

硫黄泉

皮膚病、腺病、梅毒、リウマチス

旅館 一軒

### 松の湯温泉

吾妻郡岩島村

上越線澁川驛下車 省營バス

草津行一時間三十分三十四軒

關東耶馬溪と稱せらるゝ河原湯の岩脈に近く重疊たる山峽に在り、温泉は押し迫るが如き山の眞下溪流砂石の間より湧出し居り美しき湯である、一風呂浴ぶれば玉の肌となると稱され古來美人湯として知る人ぞ知る。

附近に川中温泉ありしも過ぐる日の風水害の際流出し現在松の湯一ヶ所となれり、四季それぞれ眺めは變化に富み落付いた山の湯である。

微温にて加熱して入浴す

泉質及效能

鹽類性硫黄泉（冷泉に近く加熱）皮膚病、胃腸、婦人病

旅 館 一 軒

松 溪 館

### 川 原 湯 温 泉

吾妻郡長野原町  
上越線澁川驛下車  
省營バス一時間五十分四軒

名湯草津温泉に近く東南二十軒に在り、吾妻四名湯の一にして金鶏山の中崖、吾妻溪谷を眼下一眺の断壁上に位す。

山の大自然美を語らんには先づこの溪谷幽巒を見つして語る資格無しと云ふも誇大ならざるべし沿道數十丈目もくらやむ脚下に岩々々、石々々の突出起伏の間を水は激して白煙と化し岩石を嘯む騒音は奥深き谷に訝し、左に折れ右にウネリ、時に飛泉となつて流出す名勝地区として知られ湯を訪ふもの風流の道にあるとあらざると恍惚しばしなるべし。

若山牧水 ク溪ばたの温泉ク より

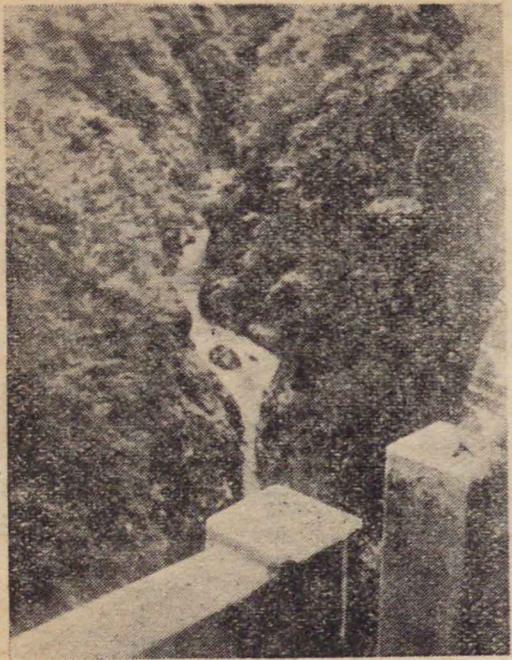
同じ行くならば、今迄行つた事のない處へ行つて見たいと先づ思つた。そして地圖の上や、噂の上で知つてゐる自分の性の合ひそうな處をと、彼處此處と考へ廻した。結局この川原湯に極めたのは近くにあつて甚しく私しの感興をそゝつた。

或る溪があるからである………わが吾妻の谷はやはり私しにとつても甚だ親しい眺めであつてくれた、其處の若葉も、つゞじも、房の短かい山藤の花もまたよく、我が長い期待にそうてくれた

夕寒き日ざしとなりてかけりたる

岩かけの溪の藍の深けれ 牧 水

温泉の起源は仁治二年（昭和十七年より七百年前）とも云はれ更に一説には建久二年（仁治より四十五年前）源頼朝が浅間に狩を催ふせし際入浴して、絶景地であり而も靈泉であると推奨せしより世に宣傳せられしとも傳ふ。



關 東 耶 馬 溪 茂 木 留 司 撮 影

空は青いし 山の雪斑ら

鷹が枯木で 眺めてた

吾妻川べの 川原湯で 白鳥省吾

泉質及效能

硫黄泉温度、七十一度 (三ヶ所より湧出)

胃腸病、神経痛、リウマチス、婦人病、皮膚病

旅館 六軒

附近の勝地

關東耶馬溪、久森トンネル、白絲瀧、榮橋、不動瀧、辨天橋

温泉神社、耶馬溪の名勝終日探るも盡きす

### 川原湯温泉附近

—山の旅コース—

澁川 — バス — 中之條 — バス — 川原湯 — バス — 草津

輕井澤 電 車 草津 — バス — 川原湯 — バス — 中之條 — バス — 澁川

上越線澁川驛、或は信越線輕井澤より草津温泉經由にても茲に來られる、草津經由の場合は、國境平六里ヶ原、鬼押出等淺間山麓の景勝を充分満喫し得るのである。

澁川驛の場合は岩井洞、岩櫃山或は仁俠國定忠治が破りしと云ふ大戸の關所等わずか本道より迂回せば往時を偲ぶに充分である、川原湯の岩脈はあまりにも有名であり地質學上好資料地であり、又天然記念物指定地でもあるのである、尙八場大橋よりは關東耶馬溪と稱さるゝ奇岩怪石に富み、十二勝の眺め終日見倦くる事なきなり、約四軒に亘る溪間を曲折せるバス道路は見上げ、見下す溪の深さに冷汗三斗の思ひあるべし、足にまかせての山の旅コースと云ふよりも、全體的に名勝地區として、ハイキングに適すると云ふべきであらう。

川原湯からバスにて原町に達し、大戸關趾を尋ね、鳩の湯に至る間はバスあるも健脚に物を言はしむる方が面白いコースである。

岩井洞の景觀は澁川中之條間に在り、バスにて行く場合どうかすると見落す事があるが惜しい眺め故吾妻を訪ふものは是非一望すべき景觀として推奨す。

川原湯 須賀尾峠越 八軒 藥師 鳩の湯 十軒 北輕井澤  
徒歩二時間三〇分 三時間

川原湯から、藥師、鳩の湯を経て法政大學村に出で、北輕井澤か栗平に通ずる山路は、山の旅コースとして最も愉快で、青草原を思ひ切りあるつてみて戴きたい、山はどこでもそうであるが、小路一本わづかに分岐するを大した事はあるまいと早合點すると、やがて其の先は峨々たる山や溪に左右されて困る場合が多いので、山路分岐の一步には留意が肝要である事を老姿心ながら付言す。

## 鳩の湯温泉

吾妻郡 坂上村

信越線高崎驛から バス二時間強  
上越線澁川驛より バス二時間(四十軒)

信越線高崎驛、又は上越線澁川驛のいづれよりも行ける真に山深き處であるが、バスの便ありて次から次へ温泉めぐりをするにも又面白きところである。

長野原町に向ふ途中、中棚と云ふ處の西寄りから左折して須賀尾峠を越へ、八軒のコース鼻曲り岳淺間隠し等連山にかこまれ、笹崎山の北麓「甘酒ヶ原」と云ふ山裾の西端に位して居るのである。

一步視界を轉すれば足下に温川の清流あり、四圍の青巒泌みくくと身近に迫るあたり仙境とはかくやと思はしむ。

新緑や萬山織りなす錦のとぼり緋一色の紅葉の候、悠大神秘の景色、元信の画も遠く及ばざるべしと讚嘆す。

泉質及效能

炭酸鹽類泉 温度四十三度

胃腸病、リウマチ、婦人病、痔疾

旅館 一軒

## 藥師温泉

吾妻郡 坂上村

信越線高崎驛からバス二時間強

上越線澁川驛よりバス二時間(四十軒)

鳩の湯西方一軒の近くに在り、温川に沿ひ高燥清純、療養に、健康鍊成に、好適であり、殊にオ

ゾンの發生極めて多きと稱され靜養地としても理想境である。

湯は温泉院と云ふ寺領に囑し、濼々と湧く泉源は衆生濟士、佛力無限の大悲力なりと、寛永五年、僧宥明法師これを開放して一般に入浴をせしめしと云ふ、大慈大悲のいとも有難きに浸りつゝ口づさむ和讃の法悦に感銘する人もあるとか、旅館には自然を巧みに庭園に取入れし瀑布あり、娛樂場あり設備よく、四季それ／＼の山の特有産物もあり、天興の療養地として知らる。

山路を踏んで十軒、避暑地として名ある政法大學村に通づるハイキングコースあり、栗平峠の展望は筆舌につくし難き風物なり。

泉質及效能

炭酸鹽類泉、又別に石膏性苦味泉在り、四十三度

動脈硬化症、胃腸病、痔疾、婦人病

旅館 一 軒

附近の勝地

栗平峠、栗平溪谷、夫婦岩、不動大瀧、忠治地藏尊、丸山城趾

草津温泉

吾妻郡 草津町

上越線澁川驛下車バス二時間五十分(五十八軒)

信越線輕井澤驛下車 草輕電鐵(三時間)

「草津よいとこ一度はおいで」と唄で知られた高原温泉である。

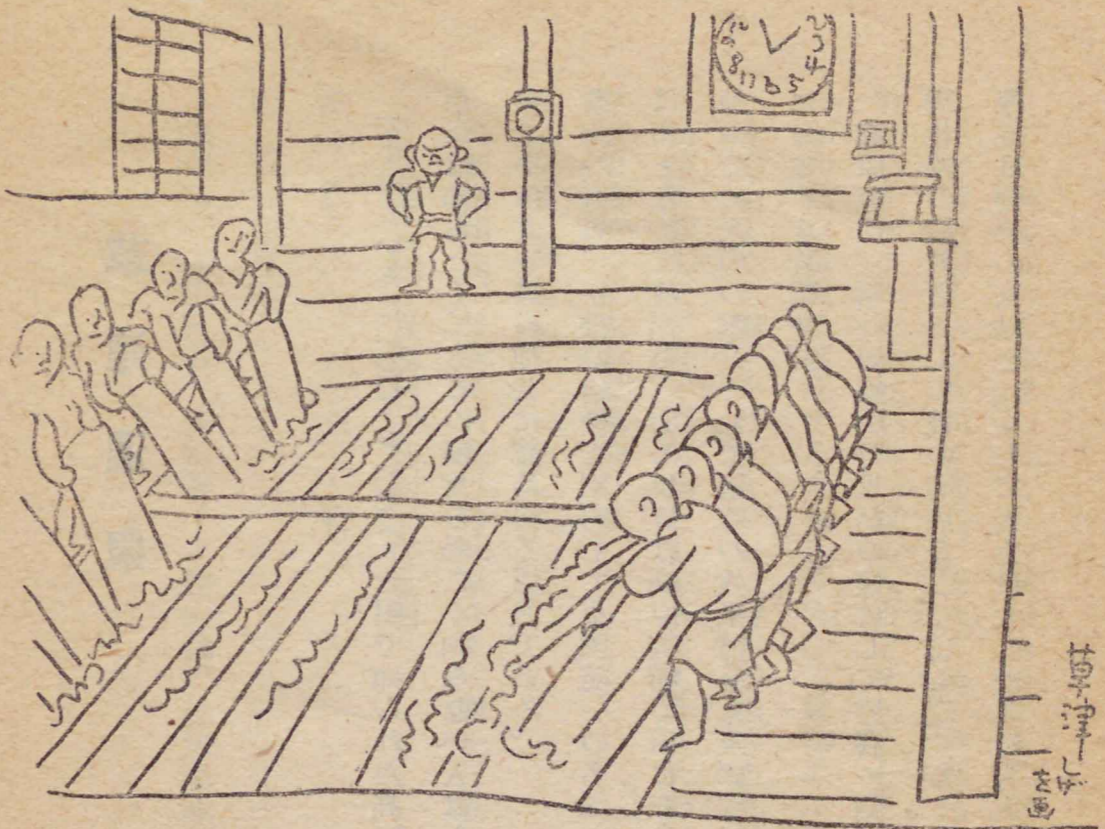
草津は知らなくてもこの唄なら恐らく知らない人はないと云はれる位、全國的に見ても有名なる名泉であることは自他共に認め得る温泉である。

攝津の有馬、伊豫の道後と相對して東國隨一の名湯として知られ、至る處より沸々と湧出する温泉は川となつて流出し、而も位置は高原雲湧く山に在り、大氣愈々澄む別天地である。

加ふるに天興の靈泉として適確の効果醫藥も及ばざるとさへ云はれ、卓越せる療養温泉として誇るに足るべきと信ず。

高原療法、紫外線療法等思ひの儘にして療養に關するあらゆる好條件を完備せるものと云へる。

理化學の權威者として彼の有名な「ベルツ博士」がこの地に、不幸に泣く病者を集め自然化學、理化學或は醫學の玄妙をつくして人生最大の悲運の人人に無限の光明を施し、今尙此の恵に感謝の祈り



草津風景時問湯

は続けられてゐるのである。

大自然と言へば地中の温泉水源より立昇る、水蒸氣中に、多量の遊離硫酸を含有し居り、空氣中に分解し、土地や大氣は清掃され自然的に消毒が行はれてゐると云ふ、あくまで恵まれたる温泉の町草津である。

湯煙りのユラ／＼小路陽炎へる

白鳥

名泉は悪疾花柳病に特效あるが爲に悪質病者のみで入浴するかの如く誤りつたへられてゐる向があるが、それは療養完備の名泉を冒瀆するものであり事情を知らぬ者の流説であつて、この名泉の眞價を知らないからである。

白根山を越へて萬座温泉澁峠越をし

て信州平穩の温泉、或ひは花敷温泉經由野反から四萬温泉へ、暮坂峠を越へて澤渡温泉へコースをとる等、ハイキングにも好適であり、行樂地として備へも又至れり盡せりである。

四季それぞれの眺めは改めて説明の要無く、山紫水明、繪ならざるはなく、又詩ならざるなき温泉街にして殊に冬の身心鍊成には、白根の山スキー、樹氷奇觀を呈する、「芳ヶ平」志賀高原等初心者にも熟練者にもよく、國境七里のスキーツアーはスキー愛好者のみの浸り得る法悦境でもある。

神技雪に手練の妙やテレマーク

白鳥

又草津ならではみられぬ、特有の時間湯「湯もみ」これこそ全国的に唄で紹介されてゐるものである、一日四回時間を定めて湯長指揮下に音頭いさましく板片にて温泉をもみ、規律的に三分間を入浴するのである、正に奇觀と云ふべきである。

泉質及效能

強酸性硫黄泉 温度四十三度―六十五度

皮膚病、外傷、胃腸、眼病、痔疾、リウマチス、神經痛

旅館

六十二軒

附近の勝地



白根山、野反池、西の河原、翁仙の瀧、殺生河原、獅子岩、香草温泉、常布の瀧、圍山公園

―草津湯もみ唄―

草津よいとこ一度はおいで

お湯の中にも花が咲く

もゆるおもひを浅間の煙

なびく草津が忘らりよか

―草津小唄―

草津こひしや白根の山の

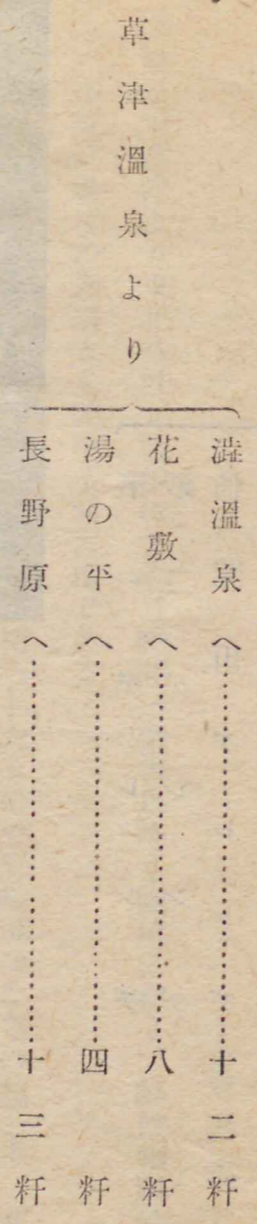
雪の消え間のお駒草

時雨はらく草津の宿で

一人寝て聞く湯もみ唄

### 草津温泉附近

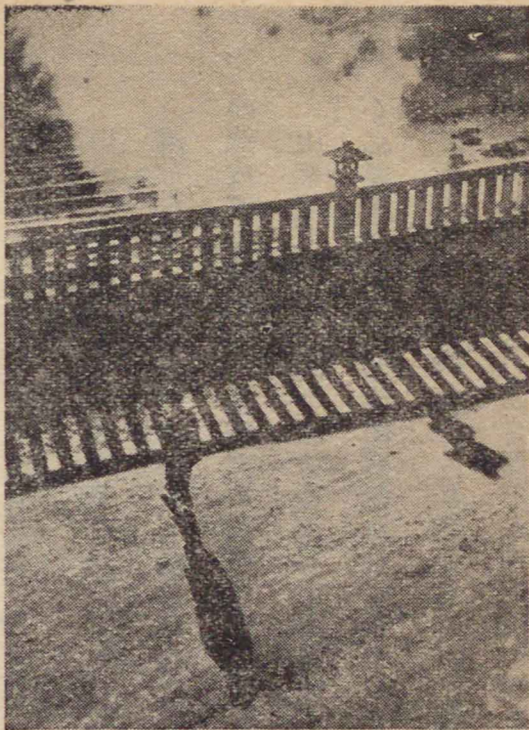
―山の旅コース―



山の旅と云つても、湯の旅と云つても、改めて切り離して説明する事が困難である。湯から湯へ、山から山へと、路は自然に連絡してゐるのである。スキートの適地として名あり、冬の鍊成にも好條件の位置である事は言を要せぬのである。

山を越し、峠を越せば次の温泉であるが、草津へ行くもの、是非白根山を知つて置く、否見て置く必要がある。草津に宿を取れば苦もなく登山が出来るのである。

花敷温泉を経て野反池（花敷から九粒）更に長距して四萬温泉に（野反から十七粒）山の細道を行かんか、いつも云ふ言葉ながら、山の深さ山の偉大さに感喜せざるを得ないのである、呼べば答



草津温泉元岩下第一郎撮影

へる山溪の嶺、山は生物である、立脈に人に呼びかけ、人に答へてゐるのである、山を知らざるの者が、山を冒瀆し、山を穢してゐるのであるが、山はそれこそ泰山の襟度を以て黙して語らず、擴大無邊の温容を示して向へてゐるのである、山を大事に致しませう、そうして山に感謝致しませう。

草津スキ―鍊成場

野	横	白	芳	仙	第	第
手	根	ケ	間	二	一	
反	山	山	平	山	ゲ	ゲ
.....	.....	.....	.....	.....	レ	レ
.....	.....	.....	.....	.....	ン	ン
.....	.....	.....	.....	.....	ン	ン
.....	.....	.....	.....	.....	デ	デ
.....	.....	.....	.....	.....	デ	デ
.....	.....	.....	.....	.....	デ	デ

花敷温泉  
尻明温泉

―吾妻郡六合村―

温泉の町草津より東北八軒、徒歩にて約二時間、閑古鳥啼く幽境に在り、絶壁相對峙してそゞり立ち、溪流は神秘の樂譜とも聞ゆる別天地である。

温泉は崖下に湧出し、自然の岩穴を其儘浴槽としたもので野趣満々たるの感あり、花笑ふの季節温泉風呂を圍む野草は、花毛氈を一面に敷きつめ溪流に湯槽に反映し、それこそ夢の國と云ふ言葉そのまゝの美しさと云はれ、誰れ言ふとなく花敷温泉と稱せしと云ふのである。

幾度讚美してみてもつきざる我が健康群馬の温泉郷は、人變り世が變りても尙こん／＼と情けの呼吸をしてゐるのである。

泉質及效能

鹽類泉 温度五十度―六十度

婦人病、皮膚病、カリエス、腺病

附近の勝地

平兵衛池、佐久間象山の金銀坑、白砂山、野反池

山から山へ、だら／＼路を敷敷から須川に沿ふて約一軒登つたところに尻明温泉がある。

温泉脈は一つなるが、泉質效能等花敷に同じく旅館は三軒である、山中とは云へ明るい旅宿に都塵をさけて入浴する時、浮世はなれの感あり、休養の一と時何物をも忘れ去り或は流し去り、サラリと浴びし一風呂は萬金に價すべきなり。

其の職に忠實なるもの、明日の職場を確歩する意味に於て、一日の憩いを山の湯に浸る、それ百薬にも勝る效あるべきを確心すると共に山の湯を心から禮讃す。

時たまに關八州の大地を震撼さす浅間の活火山が、この吾妻の温泉郷をまかなつて居ると早合點する人があるが残念ながらそれこそ筋違い脈違いで、温泉源脈は白根系であり鳴り物入りでも浅間山には大した縁がないといへる。

黙して語らずの白根山からは重要資源も産出され、湯も沸かしてくれると知れば吾妻の湯或は山を語る前に白根山に敬意を表すべきである。

椽の下の力持ちであると考へることは泉靈に對して禮を缺くものであらう風刺的に浅間と白根山の關係を付記せり。

### 湯の平温泉

—吾妻郡六合村—

草津から東へ四軒、須川の峽骨嶺々相摩す川床より湧出し、文化の力、機動力に依つて三、四十米もの高所に吸引して入浴す。

東に暮坂、西に白根、本白根、高間の諸峰を望み、北に眼を轉すれば上信國境の秀峰重疊としてせまり、溪渡る風音ホロロ、なく鳥の聲なかりせば一人通るも淋しさに絶へ兼ねると思はる、閑地である。

造化の神は心の静養地として春夏秋冬、色とりどりの美しさをあたへ、四季の變化實に雄大、加ふるに岩石を巧みに配せし如き、自然美には三思讚歎久しふするばかりである。

泉質及效能

石膏性苦味泉 温度五十四度

胃腸病、脳病、脚氣、リウマチ、便秘

旅 館 一 軒

湯の平温泉から更に登り二軒に應徳温泉がある、近時再興せし温泉にして、硫黄泉、温度四十九度、皮膚病、婦人病、痛風等に特效あり。

旅 館 一 軒

### 香草温泉

一 吾妻郡草津町一

名湯草津を西北四軒に香草温泉がある。

白根山麓、白樺や石楠花みだれ咲く別天地にして關八洲を双眸に見る雄大さ、或は浴槽から常布の瀧をながむるの景、香草にして始めて見る天工の巧みさ、又山の湯はいづれ日蔭となり勝ちなるに茲は日照時間多き清静地である。

紅葉は少し早く九月下旬にはじまり白根山下獨特、七かまどの錦として、訪ふ人見る人いづれも驚嘆せざる者なしといはる。

草津より更に三百米もの高きに在り、スキーに適地たるは言をまたない、又白根登山、或は上信國越への休憩唯一の場所として、山旅日記の頁に一興を添ふ處である。

泉質及效能

多鹽基性綠礬泉 温度六十度

胃腸病、婦人病、脳病、痔疾、リウマチス

旅 館 一 軒

附近の勝地

白糸の瀧、芳ヶ平の展望、常布の瀧、白根山、平兵衛池の碧潭

### 萬座温泉

一 吾妻郡嬭戀村

信越線輕井澤驛下車

草輕電鐵にて萬座温泉口下車

それより登り十六軒徒歩五時間 馬の便あり

上越線澁川驛下車、草津經由、或は信越線長野驛下車、長野電鐵利用、上山田温泉より十三軒或

は湯田中驛下車、澁、上林の温泉經由、更に志賀高原熊の湯白根墳火口を探勝しつゝ萬座温泉健脚コースあり、群馬、長野兩縣より行ける國境の高原温泉である。

上信國境萬座山と、白根山の裾を奔流する萬座川の水源にして、熊笹生ひ茂り、梅と落葉次から次へと續き山の深さをしみくゝと感づ、膝下を奔下する萬座川には隨所より温泉噴出し、白煙と化し、出湯の香洋溢す、極めて湯量豊富にして苦湯、姥湯、鈴湯、熱の湯、蒸湯などと別れ湯尻は合して瀬となつて流れる。

白根山頂に近く僅かに二十八丁頂上には湯釜と稱する温熱の水を湛へし大湖あり、お鉢廻りをし、西側の地藏岳に到達すれば、甲、信、武、の峻嶮はもとより、富岳の雄姿も一望に眺められ、遠望限りなきを知る。

高原特有の紫外線殊に強力といはれ、高燥の空氣又比類無く療養的價値、はかり知れぬ天與地であるといふと醫學者推奨す。

附近一帯七竈の錦熊變化は絶讚、天下一品と稱さる、頂上を經由十二軒の風物を賞しつゝ草津に至るコースは特筆すべき山路コースである、地域は群馬に屬し物資は長野より搬入すといはれ、群馬最端の山上に位す、各々特長を持つことはいづれの湯にもあるのであるが、自然の位置宇宙の神

秘、あらゆる治療的要素を備へる點から見ると、草津とか萬座とかいふ温泉は全國稀に見る名湯といふも過言ならずと信す。

泉質及效能

弱鹽類性硫黄泉と含鐵硫黄泉の二種温度三十八度—六十度

脳病、胃腸病、婦人病、リウマチス、皮膚病、呼吸器病

旅館 三軒

附近の勝地

白根山の噴火孔、殺生ヶ原の偉觀、法性の瀧、鶴ヶ池、亂麻の瀧、辨天池、七籠の紅葉

花苔に櫓馬つく萬座かな

零録子

時鳥啼くよ招くよ湯の萬座

大山人

萬座温泉附近

一山の旅コース

萬座温泉附近といつても、位置が山を極めし高所に在る關係上、獨立的の所である。

長野縣堺にして、信州上山田温泉より登るのがかへつて便利とさへ稱さる。

白根山に行くのが唯一の山の旅コースである、萬座へ行く場合、四時間は徒歩、或は昔ながらの馬の背を借用に及ぶより手段がない、行くことそれ自體が健康路であり、又山の旅コースでもある高層純潔、嗤へぎながら登るだら／＼路に汗を流し、あへぎつゝ登るところに、山の旅、湯の旅の妙味があるのである、白根山を経て草津に至るか、或は上田方面に出るか、時間があるなら六里ヶ原鬼押出を眺むるか、附近のコースといつても十六、七軒萬座をはなれなければ別に改めて説明をする要がないのである、従つて前橋市を起點にしても二泊からの日數を計算せねば、旅程困難である旅程もこの邊に定めるなら自然に強歩コースとなり、混濁せる空氣の中に生活するもの、必ず登山すべきであり療養コースでもある。

### 新鹿澤温泉

吾妻郡 嬭戀村  
信越線 輕井澤下車  
草輕電車 上州三原下車  
バス 二時間半 四十九軒

上越線澁川驛下車省營バス長野原經由にても行けるが、輕井澤經由を最も便とす。

温泉をはるかに南、御神火燃ゆる淺間の煙り、北には靜かに眠る四阿山、其の間山の背は相摩し高峰、三峯、湯の丸、烏帽子の連山、又は屏風を立て竝べし如き車坂、地藏、角間、烏居峠介在して二十餘方里の吾妻高原に及ぶ、又田代湖に近く、高操、豪放的風致、山のいで湯の感一としほ深きを知る。

總じて健康群馬の山の温泉は、純朴で、無闇と人工を加へぬ點に眞の療養的眞價があり。

殊にオゾン清澄の朝夕は病む者と否とにかゝわらず、生ある者の無狀件に讚美すべきものにして天興の恵みに感謝を忘れてはならぬとおもう。

何といつても山は若芽の頃から美しくなり。

新緑の夏、一沫の淋しさはあれと紅葉の秋、そうして萬山眠る雪の景觀等々、山を知る人のみに限ぎられたる別天地である。

山は見るものにあらず、山を踏まずして山を語るべからずと言ひたい、そしてそのつかれを洗ふ温泉の味、そして明日の職場に颯爽と働らく元氣、温泉を有閑人や病人の専用とのみ誤解され易きを残念に思ふのである、壯者よ、病者よ、山に來れ、そして湯に浸れ、山の湯は清らかに、無限の

愛をこめてあたゝかく抱擁するであらう。

避暑の温泉や黑白吳越灯に更る

白鳥

泉質及效能

アルカリ性炭酸泉 温度四十三度

胃腸病、脳病、婦人病、リウマチス

旅館 四軒

附近の名勝

浅間山、田代牧場、田代湖、鬼押出し、岩溪、的岩

—新鹿澤民謡—

山は朝焼 晴れ行く峡霧

燃ゆる浅間の 山裾かけて

立つは温泉煙り 新鹿澤

トロリ湯花のトロリ湯花の咲くところ

### 鹿澤温泉

—吾妻郡嬭戀村—

新鹿澤に四軒の近くに在り、元鹿澤とも稱され、温泉の起源は非常に古いのである。

孝徳天皇の白雉元年（千二百九十七年前）發見せしといはれ、清和天皇の皇子貞保親王は管絃の妙手にあらせられしが、或日御殿で奏樂中燕子の汚れにふと御氣付になり、いろ／＼施療せられしも御效なく、御患ひ給いしに或る夜、夢枕に薬師十二尊現はれ東國に「加澤の靈泉あり、この出湯に入れば眼疾直ちに平癒すべし」と御告あり、親王は遠く信濃路に分け入り給ひ、この湯に入浴せらるゝやたちどころに眼病御平癒遊ばされしといふ。

今尙、王湯と名附あるはこの因縁からであると稱され、古來其の效驗に訪ふ人多きといはる、新鹿澤の温泉はここから引かれて居り鹿澤温泉を元湯といふも當然である。

この邊一帯はスキー鍊成のスロープ殊の外佳く、見上ぐる山より滑降するの快、又忘るべからず山から山へのハイキングにも一段の壯嚴味を體得しうるのである。

泉質及效能

アルカリ性炭酸泉

旅館 一軒

伊香保温泉

旅館名	代表者名	電話番号	距離の	浴場数	茶	代	サービス料
石坂旅館	石坂まさき	一三三八番	六〇〇米	四	〃	退	〃
橋本ホテル	橋本彦勝	二二〇番	一〇二米	三	〃	任	〃
蓬来館	木暮かつ子	六一二番	六二〇米	六	任	意	〃
千明仁泉亭	千明三右衛門	三二六番	七〇〇米	九	〃	退	〃
浴蘭樓	岸權三郎	二二九番	七〇〇米	一〇	〃	〃	〃
横手館	横手信太郎	一四七番	七〇〇米	六	〃	〃	〃
福一旅館	福田與重	一四四番	七三〇米	五	〃	〃	〃
木暮旅館	木暮欣一	一四七番	四〇〇米	一三	〃	退	〃
古久屋	森田啓太郎	一五三番	六〇〇米	七	〃	〃	〃
香雲館	塚越七平	一七七番	七二〇米	六	〃	〃	〃

森秋旅館	森田泰司	一三五番	五五〇米	一〇	〃	〃	〃
醉月旅館	亘ヶ伊房	一四九番	七二〇米	二	〃	〃	〃
伊香保館	松岡吉房	三四〇番	五〇〇米	五	〃	〃	〃
ふじの館	齋藤直保	一三〇番	七二〇米	二	〃	〃	〃
丸松本館	鈴木木直	一三〇番	六五〇米	三	〃	〃	〃
香月館	高木角次	一一一番	六五〇米	二	〃	〃	〃
市川旅館	市川繁造	二六六番	六五〇米	四	〃	〃	〃
大森館	大森繁	四九六番	五五〇米	三	〃	〃	〃
金山館	金山卯三	四七七番	六八〇米	二	〃	〃	〃
青山旅館	青山佐市	一五七番	六五〇米	二	〃	〃	〃
油山館	福田松太	六二七番	七二〇米	一	〃	〃	〃
木村屋	木村正郎	六五七番	六五〇米	二	〃	〃	〃
吉田屋	金井兵太	六五〇番	六五〇米	二	〃	〃	〃
福善館	福田芳太	一一三番	七〇〇米	〃	〃	〃	〃
新井屋	一倉安太郎	二二三番	七〇〇米	〃	〃	〃	〃
立花屋	大塚富雄	一五六番	七二〇米	〃	〃	〃	〃







石塚旅館	日向見溫泉	賽陵館	鐘壽館	四萬館	積善館	豐島屋	唐澤屋	三木屋	泉木屋	白岩屋	吉原屋
石塚專右衛門守	日向見溫泉	田村茂三郎	田村辰雄	阪田英一	關善平	田村はつ	唐澤角次郎	田村七平	齋藤一齊	島村八十吉	湯本しをか
一五番		二〇番	二〇番	一〇番	二〇番	六〇番	六〇番	五〇番	二〇番	一〇番	三〇番
一五米		二〇米	二〇米	一〇米	二〇米	六〇米	六〇米	五〇米	二〇米	一〇米	三〇米
五		五	五	二	一	二	一	五	五	五	五
〃〃任		〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任
意		意	意	意	意	意	意	意	意	意	意
〃〃任		〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任	〃〃任
意		意	意	意	意	意	意	意	意	意	意

山口館	四萬溫泉	關晴別館	湯本屋	中本屋	關本屋	日常進館	豐國屋	山田旅館	應德溫泉
田村八平	四萬溫泉	關久四郎	山本四萬作	山本四萬作	關久四郎	水野聰	中澤榮	山田保平	應德溫泉
一八		八八八八	八八八八	八八八八	八八八八	一二六	一二六	六	
一番		八八八八	八八八八	八八八八	八八八八	一二六	一二六	六	
一〇米		八八八八	八八八八	八八八八	八八八八	一二六	一二六	六	
二二		二二	二二	二二	二二	三三三	三三三	一	
任		〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃任	〃〃任	一	
意		〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃任	〃〃任	意	
勘定ノ一割		〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃任	〃〃任	任	
		〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃〃任	〃〃任	〃〃任	任	



已辰館 大室溫泉旅館	上牧溫泉	餅屋旅館 瀨下屋	鹿野橋旅館 荒木屋 さくらい	柳家納屋 松葉屋	小日向溫泉
深津謙三 大室菊枝	瀨下ユキ實	大久保源吉 荒木なか 櫻井鹿之助	阿部とえ 片桐豊市 小野モク		
五番 五番	三〇〇米 三〇〇米	九〇〇米 二〇〇米 一五〇米	九〇〇米 九〇〇米 九〇〇米		
四任 三辭	〃辭	〃〃任	〃〃任		
退意 〃任	退任	〃〃任	〃〃任		
意	意	意	意		

元湯旅館 大國館	湯原溫泉	谷川盛川館 金盛館 紅葉館 紅葉館 向島館	谷川盛川館 高橋鐵五郎 須藤英夫 石坂瀧造 荒井周作	谷川盛川館 高橋鐵五郎 須藤英夫 石坂瀧造 荒井周作	湯檜會溫泉	神峽樓 志賀學而 山田喜太郎 國峰榮一 高橋三郎
鈴木長之助 田中周平	阿部一美 木檜三四郎 林音松	二番 二番 二番 二番	二番 二番 二番 二番	二番 二番 二番 二番	ユビソ七番 二番 二番 二番	勘定ノ一割 退 辭 任
九〇〇米 九〇〇米	三〇〇米 三五〇米	三三三三 三三三三	三三三三 三三三三	三三三三 三三三三	二二二二 二二二二	意 意 意 意
一任 〃任	二任 〃任	二任 〃任	二任 〃任	二任 〃任	四任 三任 四任 五任	意 意 意 意
〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意
〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意	〃任 意

寶川温泉

汪泉館 小野喜與三

一四 三任 任意

湯の小屋温泉

大坪旅館 大坪友三郎

二〇 一任 任意

湯宿温泉

湯元館 岡田作夫

八 八 五 二 一 任 意

金田屋 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

太陽館 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

榊屋 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

常盤屋 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

福居屋 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

大美屋 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

大瀧屋 岡田志

八 八 五 二 一 任 意

法師温泉

長壽館 岡村宏策

二四 三 勘定ノ一割 勘定ノ一割

川古温泉

濱屋 林峯治

一七 一任 任意

笹の湯温泉

笹の湯相生館 東海林鑛吉

一二 三任 任意

猿ヶ京温泉

桑原館 桑原惠助

一三 二 辭退 任意

長生館 桑原卓雄

一四 二 辭退 任意

日出屋 林津

一四 二 辭退 任意

老神温泉

初音屋 金子春次郎

二〇 二 任 意

白雲閣 金子春次郎

二〇 二 任 意

老神館 桑原武都雄

二〇 二 任 意

上田屋 小尾景義

二〇 二 任 意

丸沼温泉ホテル	丸沼温泉	白根温泉	東郷館	土出温泉	千代田館	根羽澤温泉	磯部鑛泉	イソベカン	林屋	鳳來館
増田金作	星野くめ	田邊要次郎	萩原友吉	櫻井秀男	林通弘	大手急い	三	五〇番	三〇〇米	一
五〇軒	三八軒	三八軒	五二軒	三〇〇米	五〇〇米	三〇〇米	一	四	一	〃
二任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	四	一	〃
意	意	意	意	意	意	意	意	四	一	〃
勘定ノ一割	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	四	一	〃

朝日館	下湯元館	漏田別館	山口屋館	未廣館	關場館	大場温泉	東陽明館	大陽ホテル	青木館	穴原温泉	東秀館	野村屋	川場温泉	都旅館	山市旅館
桑原武都雄	桑原武都雄	桑原武都雄	漏田重次郎	山口重次郎	金子まてい	金子まてい	菅原信義	菅原信義	青木半三郎	小林政太郎	星野サク	角田榮治	二番	二番	二番
二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒	二〇軒
一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任
任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意

梨木館 深澤直十郎 七番五籽 四任意	梨木鑛泉	長生館 小川英太郎 九番二、三籽 二任意	西長岡鑛泉	今井館	室田館	伏島館	福壽館	藪塚館	鳥	三鳩樓 中井聖作 一二籽 一任意	藥師溫泉 生駒恒子 北輕井澤より 一二籽 一任意			
				今井新次	室田武逸	伏島久太	福田吟二	今井斧	【目下一般ノ客ハ宿泊不能】					
				二番	二番	二番	六番	三番	一八〇〇米			八〇〇米	八〇〇米	一八〇〇米
				二	二	二	二	二	二〇〇米			八〇〇米	二〇〇米	二

藥師溫泉	霧積溫泉	八鹽鑛泉	八鹽館	櫻雲閣	神水館	旭泉館	小島屋	磯の湯	一新館	長壽館	大正屋	一四〇	
						清水まさご	上原善次	小島けい	山田兼吉	水江秀次	萩原一男		長谷川たか
						一三番	二番	五番	二番	一七番	一四番		二〇〇米
						〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃



松葉鑛泉

松葉館 深澤線吉

四 籽

一 任意 任意

湯の澤鑛泉

新島屋 北爪守雄  
元東屋 前原亮一  
新東屋 前原忠太郎  
福田屋 關口周次

一 二 籽

二 二 二 任意 任意 任意

忠治溫泉

忠治館 岡田義正

一〇 籽

一 任意 任意

瀧澤鑛泉

福田屋 關口三津五郎

一二 籽

二 任意 任意

鹽河原鑛泉

宮田館 宮田すゑ

一〇 籽

二 任意 任意

碓氷溫泉郷

赤坂鑛泉 赤坂旅館

佐藤龜藏

壽榮廣鑛泉 壽榮廣鑛泉

廣神貞次郎

松島鑛泉 松島鑛泉旅館

松本音次郎

荒船鑛泉 荒船鑛泉

荻野もと

濱平鑛泉 濱平鑛泉旅館

高橋藤十郎

忍山鑛泉 忍山館鑛泉

大川ツル

山光館鑛泉 山光館鑛泉

佐藤初次郎

宮の湯鑛泉 宮の湯鑛泉

金井豊次郎

赤城山附近鑛泉

神梅鑛泉 神梅館

田中實

地藏鑛泉 鹽原旅館

鹽原勝三

鶴谷鑛泉 鶴谷館

原田定次郎

山の家	千明旅館	井上日出子	二番	三六	一任	一意	任意
	片品村	唐澤福造		四四	一任	一意	任意
	湖畔亭	門倉幾太郎		四四	一任	一意	任意
	ふじや			八	一任	一意	任意
	水樓	雨宮源司		八	一任	一意	任意
	山樂水	館玉屋		八	一任	一意	任意
	東雲館	渡邊政雄	一五六番	八	一任	一意	任意
	養氣館	岡部うた	一五六番	八	一任	一意	任意
	妙義山	青木源作		八	一任	一意	任意
	赤城山	桑原政榮		八	一任	一意	任意

上ノ原山の家	武能小	長藏小	檜枝岐小	彌四郎小	温泉小	山の鼻小	富士見小	榛名山ノ家
東ノ野長英	平野長英	萩原三	橋彌四郎	星段七	萩原豐	萩原彌	小萩原	小暮寅
一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四
一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任	一任
一意	一意	一意	一意	一意	一意	一意	一意	一意
任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意

## 筆者の言葉

一四六

本誌の發行に付き、群馬の歴史概略と史蹟名勝を羅列し、温泉紹介に短文を付し、山の旅コースに於ては温泉附近に重點を置けり。

「山の旅」としてはいさゝか物足らずして誌名にそぐわぬ點も多々ありと信ず、山に就ては綿密細心を期す要あり、殊に谷川連峰、白根山系、尾瀬高原等剛壯雄大にして登山に對しても専門的部門に屬する山にして之れを紹介せんには百數十頁の書物を要する材料ある實狀に鑑み、本誌に於ては其外畫を記すに止めたり、輕視より起る危険を考慮せる點を充分御承知願ひ度い。

いづれ上州路山の紀行として、専門誌發行を期せり、誌上寫真はいつも懸賞寫真に應募せられし作品中より適當と認むるものを記載し尙、今後もあらゆる點に充分其の勞に酬ひんとす。

爾來、動もすると温泉と旅には不健全なる冒瀆説ありしも昨今の温泉は「一口」にも産業戰士憩いの温泉となり時代即應の體制に在るは床しき限りである、要は利用する各人の考へに在り責任にあることを切に感ず。

遊山の旅は斷じて止むべしとの聲あり、而らば湯や山は無用とさへ言はんかそれは誤解も甚だし

く働らく明日の健康體には適當の慰安が絶對必要である、健全なる遊山は推奨すべきである、言葉や字句にとらわれず山や湯を大いに活用すること吾人の責任であると思考す、日本武尊の古事をしてのんで萬岳峻峰に立ちて南の空を見よ、そして括目せよ、雜然の氣は晴れ、邪念は去り浮動心立ち處に澄むべし。

特に本書は讀む本にあらず實踐力行の案内書たり、故に付圖に重點を置き連繫コースに明確を期せり

### 付 圖

一、温泉一覽及連繫コース圖 (別刷)

一、スキー案内圖 (折込)

記事中に山旅(一般向)コース及關係旅館全部を付して旅宿の便を計れり

表紙に於て従來の型をいささか殊にし、物産の一二を繪圖として記し、尙群馬の旅を表紙に於てコースの想定が出来得るよう、そして表紙も活用していただく考へからである、表紙も立派に一役して居ることを御承知願ひ度い、

何んといつても健康確保の急なる今日、群馬の温泉及景勝地を徒歩せられんことを切に願ふ次第である

昭和十七年四月一日

普及版頒布價 一部 金壹圓貳拾錢

昭和十七年五月二十五日印刷  
昭和十七年六月一日發行

群馬縣廳土木課群馬縣勝地協會  
山岳部、文化編集部

編輯者 萩原正義

群馬縣前橋市細ヶ澤町七九

印刷者 横山宗治

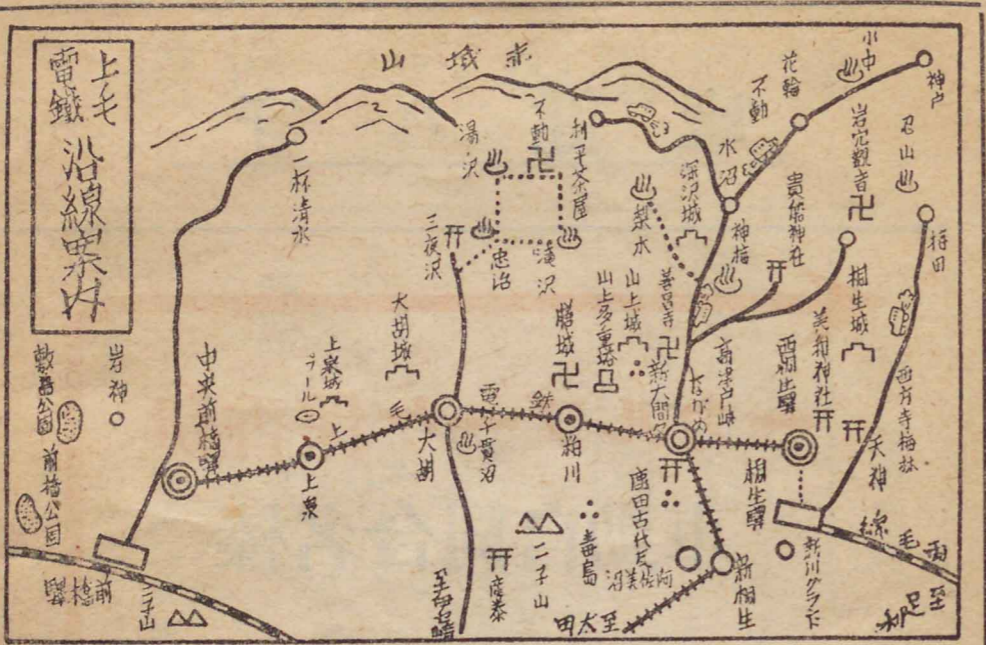
群馬縣前橋市細ヶ澤町七九

印刷所 横山印刷所

群馬縣廳土木課內

發行所 群馬縣勝地協會

電話前橋四二四一番  
振替東京六〇〇四六番



前橋淺草雷門間連絡  
赤城山南面登山口  
(大胡驛)

上毛電氣

鐵道株式會社

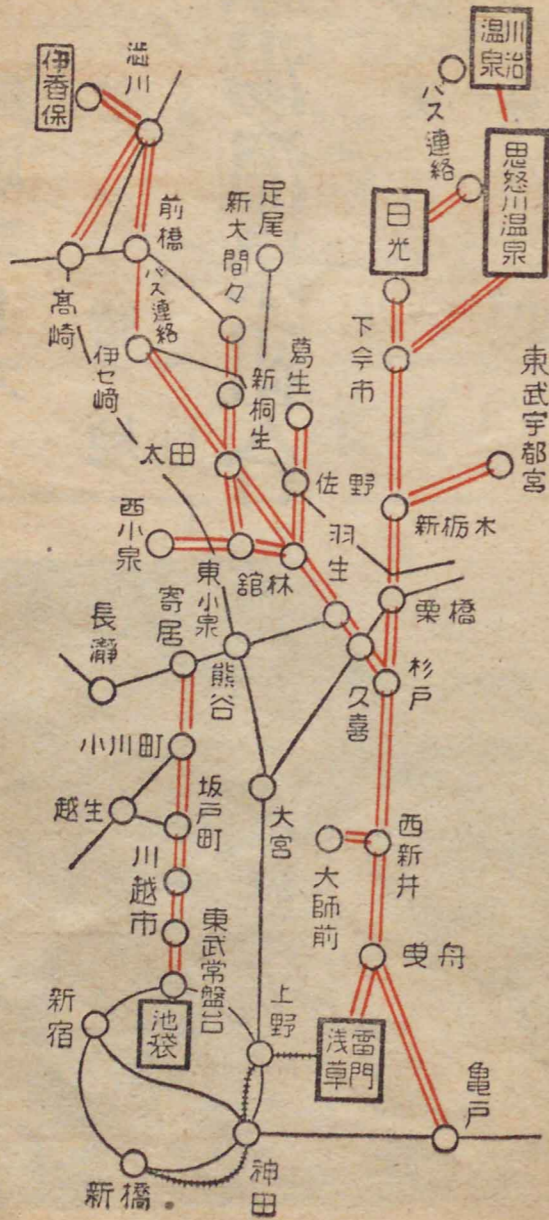
(三十分間隔運轉)

前橋市一毛町二二五  
電話三五四七番

# 道近のへ場道成鍊

## 網通交武東

伊香保へ  
 高崎驛 毎時發  
 前橋驛 三〇分毎發  
 澁川驛 各列車接續  
**東武鐵道澁川營業事務所**



東武鐵道沿線略圖

東京より東毛、野州地方へ近道

# 康健れ守



一カルブーケ保香伊  
 車動自同合名様

所業營

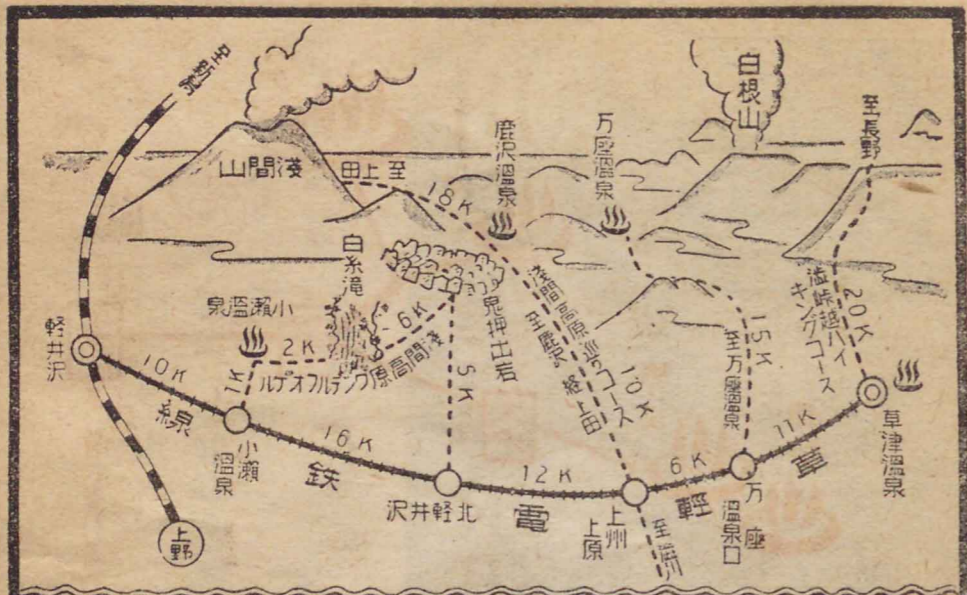
町保香伊縣馬群

社本

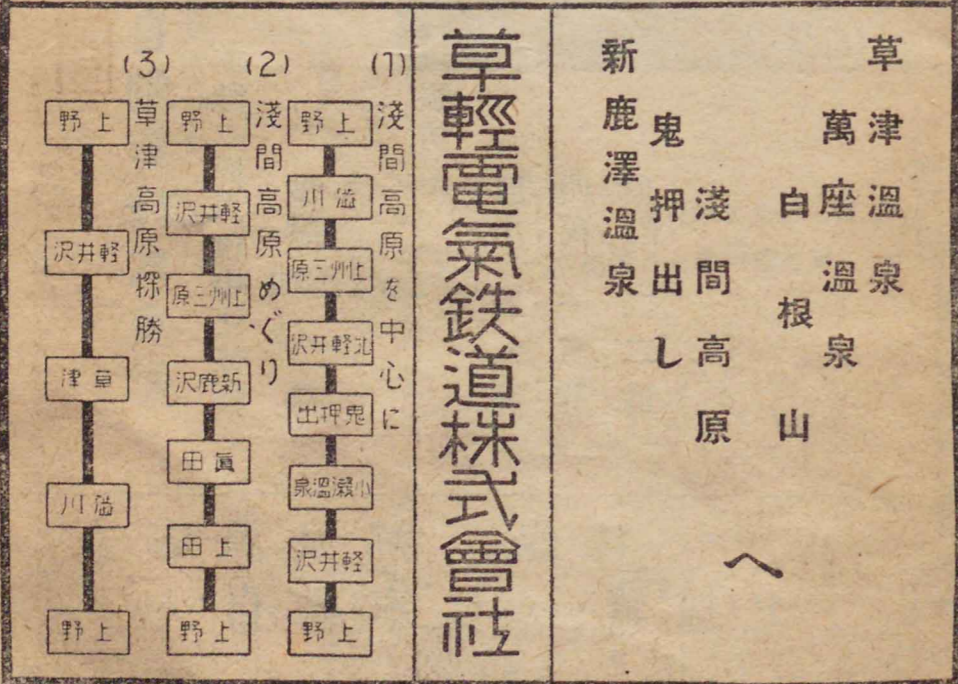
社會式株道鐵ルブーケ保香伊

地番十保香伊字大町保香伊郡馬群縣馬群

社會式株車動自同合名様



めとつの後銃 康健よめ求

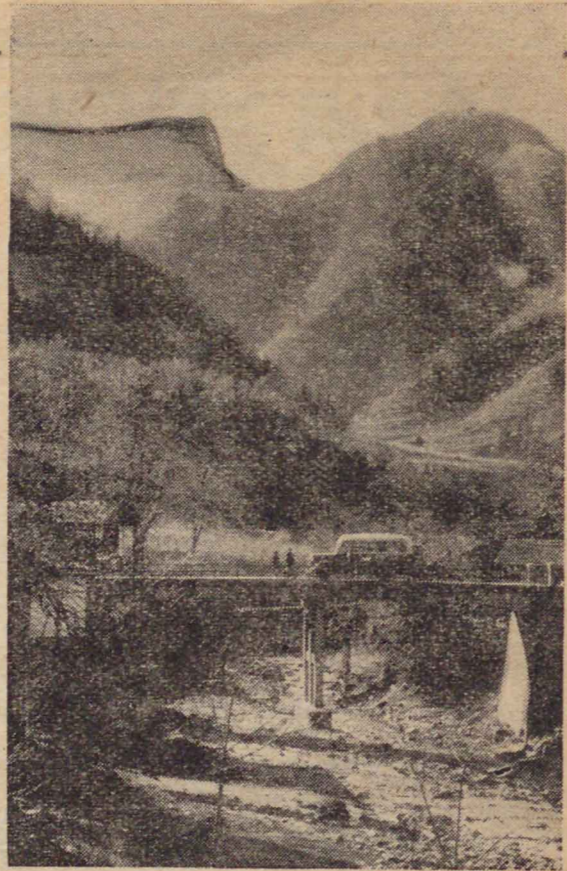


澁川 中之條 草津 輕井澤

# 川原湯温泉組合

關東耶馬溪 健康コース 名勝地

歴史は 湯の効果を 立證す



豪華な日歸コース  
 幽邃なる神苑  
 貫前神社より  
 薫風をついて……路神津牧場へ……

電 車  
 銃後の壓倒的輿望を擔つて貫通せる  
 内山自動車線四一、三軒

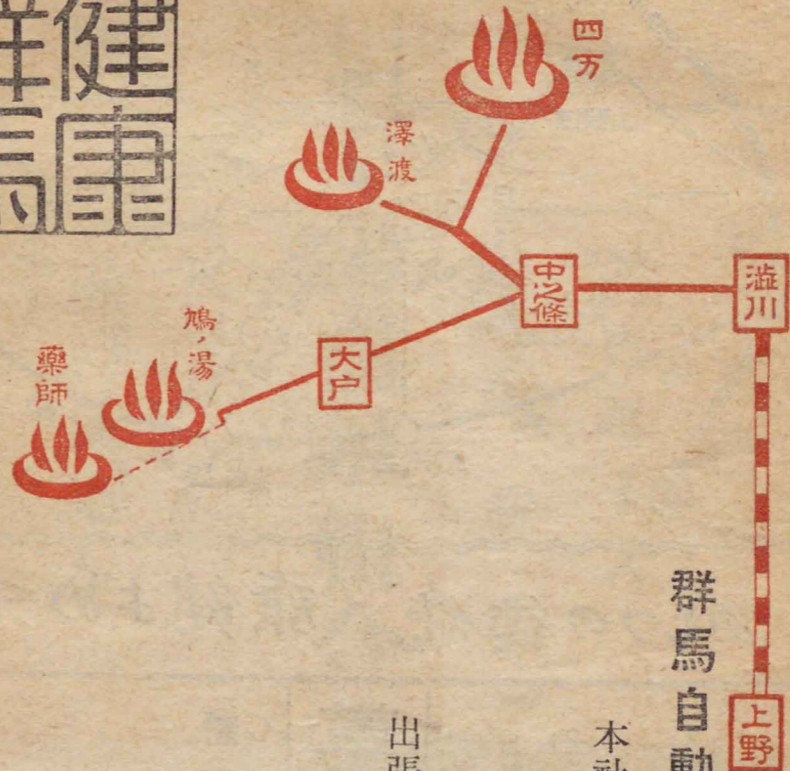
中 込

上野  
 荒船より初谷鑛泉へ  
 込中りよ峽山内に更  
 しよに更は泊……

上 野 信 電 鐵



健康 群馬



群馬自動車株式會社

本社 群馬縣中之條町

電話 四一五番

出張所

澁川 五九番  
 四萬 一三番  
 原町 二二番

吾妻温泉郷は……湯は……  
 自動車は……皆様を……  
 御待ちし居りませう



健康を体康健 需よめ 山に

榛名湖畔

鍊成に開放

簡易實費

宿泊自由

山の家

支配人 小暮 寅

山と水の静寂に

浩然の氣を

養ひ給へ

利根郡老神

片品溪谷

吹割瀧の景勝

老神温泉組合

傳統効果

産業戦士

憩いの湯

健康報國

憩い

喫茶

榛名湖畔

湖畔亭

店主 門倉幾太郎

御宿泊に

湖産料理

体位鍊成

榛名湖畔

店主 唐澤福造

氣軽な

御

宿

泊

ふ

じ

屋

山山

をに

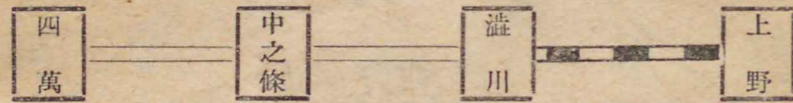
愛鍛

仰へ

しよ

赤澤越へ錬成コース發着地

# 四萬溫泉



## 療養本位の湯

日向見旅館	田村旅館 電話五・六・七・三番	唐澤屋 電話二十三番	中生館	豊島屋 電話十八番	泉屋 電話二十一番	石塚旅館 電話十五番
積善館 電話二・三・四番	白岩館	四萬館 電話十二番	鐘壽館 電話十番	三木屋 電話十七番	玉泉館 電話三十番	山口館 電話八・十一番

【イロハ順】

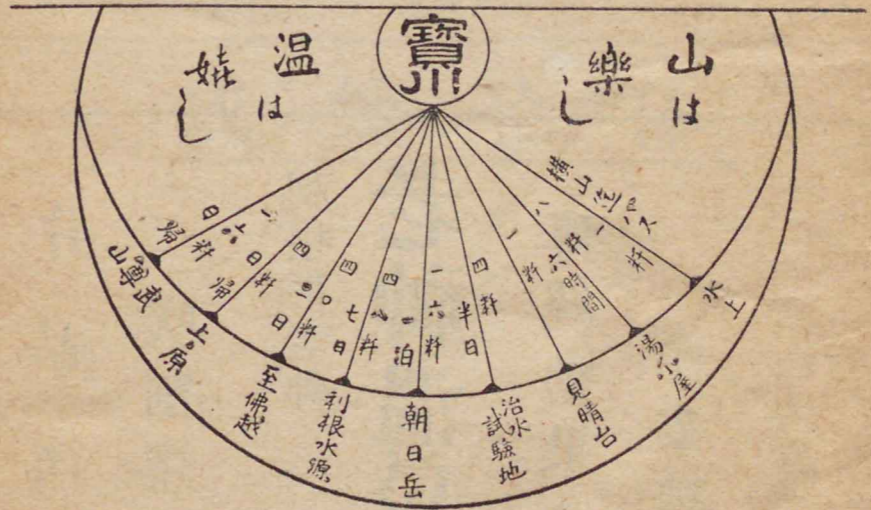
來れた健康錬成の山



# 妙義

妙義神社前  
しひ屋旅館

電話松井田五十九番



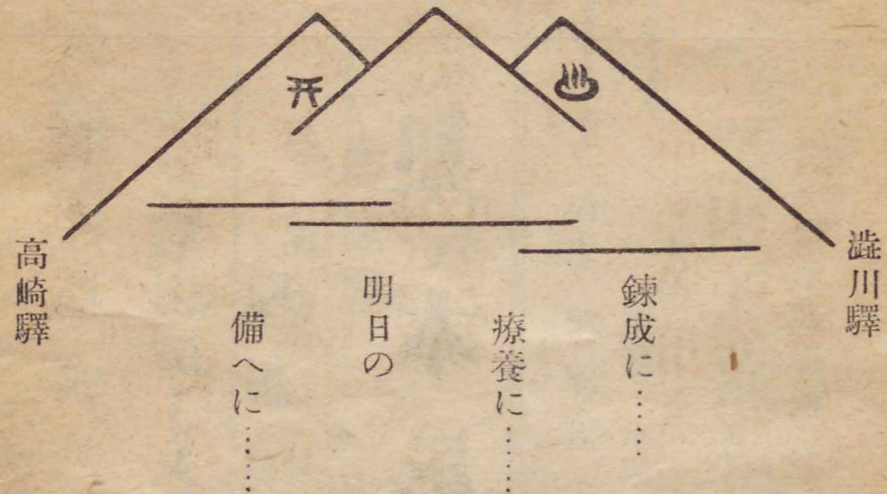
# 寶川溫泉旅館

汪泉閣

館主小野喜三代

# 伊香保温泉

電話一四番



心身よへ鍛・川谷は山

奥利根溪谷

出て湯の名所

水上温泉郷

案内所電四四番

上越線下車驛

山なら……土合・土樽

湯なら……

上牧・水上・湯檜會

# 力ルルス泉

信越線磯部驛附近

## 磯部鑛泉

奇峰妙義

附近の史蹟

浴用・飲用

好呆靈妙

磯部鑛泉組合取締所

電話四三番

イソベカン

電話五七番

鳳來館

電話三番

林屋

電話一〇番

長壽館

電話四番

旭館

電話一二・三一・番

小島屋

電話二番

一新館

電話二七番

東泉館

電話一三番

磯乃湯

電話五一番

増強体位に國榮ゆ

赤城は招く

赤城南面 新東屋  
湯ノ澤鑛泉  
館主 前原忠太郎

赤城南面 新島屋  
湯ノ澤鑛泉  
館主 北爪守雄

赤城山 湖畔  
キャンプ 用具貸付 前橋市琴平町  
柴田天幕部  
電話二九三八番  
テント ポート

山は晴れたれり。國民練磨

法師温泉  
赤澤越へ  
國境越へ

長壽館  
電話猿ヶ京五番  
館主 岡村宏策

三國々境唯一  
の出で湯

榛名湖畔

喫茶 御中  
山上バス驛構内  
矢野浩輔

仰磨 げけ 日よ 丸の身 心

足尾線上 神梅より 自動車十五分 馬車一時間

館主 深澤直十郎  
電話 水沼七番

梨木館

健康鍊成  
赤城山コースの  
理想境

赤城山

地勝景

南面

山路の 御つかれに  
一風呂召せ  
敷島

御案内所  
大胡電四八番

忠治温泉

療養に  
ハイキングに  
開放奉仕



水沼 神梅

湯の秘神・山の壯剛

水上

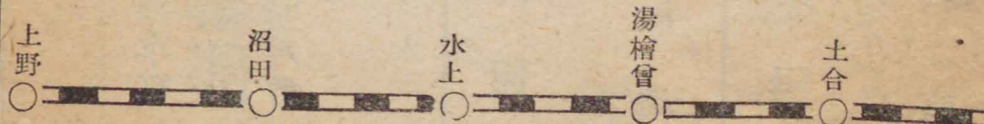
温泉郷

寶の

いで湯

水上温泉組合

電話水上四四番



踏よめ高原・山らか山へ.....

靈泉

萬座温泉

豊國館 館主水野 聰

常盤屋 館主中澤 榮

日進館 館主黒岩ひやく

百聞は

一見にしかず

31948

## 御 注 意

- 本は大切に扱ひましょう。
- 本は転貸借はお断りします。
- 10日間の期限に必ず返して下さい。
- 本を汚損または紛失した時は同一の本  
又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館

前橋市栄町10番地

(電話(2)3008番)



群馬県立図書館



0238887-4

9